

Ⅰ 第2次かすがい市民文化振興プランの概要

(1) 基本理念と基本目標

I 基本理念

この第2次文化振興プランでは、「文化・スポーツ都市」宣言の趣旨を受け、また文化振興基本条例で定めた基本理念を実現するため、本市が目指すべき10年後の姿として計画に掲げる理念を次のとおりとします。

世代を越えて響き合う 文化創造のまち春日井

II 基本目標

計画に掲げる理念を達成するために、次の3つの基本目標を定めます。

基本目標1 参加と体験による文化が生まれる環境づくり

基本目標2 特色ある「春日井文化」の継承・創造

基本目標3 文化を通じた連携のまちづくり

(2) 施策の体系

理念	基本目標		施策	
世代を越えて響き合う 文化創造のまち春日井	基本目標1	参加と体験による文化が 生まれる環境づくり	施策①	幅広い鑑賞機会・文化活動機会の提供
	基本目標2	特色ある「春日井文化」 の継承・創造	施策⑥	特色ある文化の推進
	基本目標3	文化を通じた連携のまち づくり	施策⑧	分野を超えた連携の推進
	施策②	次世代の文化活動を担う人材の育成	施策③	知りたい人に届く文化情報発信
	施策④	市民による文化活動支援の推進	施策⑤	文化が育つ拠点施設の充実
	施策⑦	文化財・伝統文化の保存・継承・活用	施策⑨	文化による地域の活性化

2 第2次かすがい市民文化振興プラン 令和2年度進捗状況評価票

令和3年8月10日開催の令和3年度第2回春日井市文化振興審議会において
春日井市(文化スポーツ部文化・生涯学習課)より令和2年度の進捗状況を報告し、
文化振興審議会の点検・評価を受けたものです。

< 凡例 >

各事業の達成度(自己評価)については、次の5段階で評価を行った。

- A 実施し、計画以上の成果が得られた。
- B 実施し、計画程度の成果が得られた。
- C 実施したが、計画どおりの成果は得られなかった。
- D 検討したが、実施に至らなかった。
- E 実施・検討に至らなかった。

(1) 施策ごとの評価

基本目標1 参加と体験による文化が生まれる環境づくり

施策① 幅広い鑑賞機会・文化活動機会の提供

施策ごとの事業の成果

(1) 多彩な文化芸術のより身近な鑑賞機会の提供

ア 地域に身近な会場での鑑賞・交流機会の提供

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
あ〜とふるマイタウン(芸術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】	芸術家等を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※令和2年度より伝統芸能分野も文化財団に移管し、「かすがいどこでもアート・ドア」事業で実施。	実施プログラム5、実施回数12回(前年度比9回減) <内訳> 書(篆刻を含む):3プログラム6回(前年度比3回増) 伝統芸能(落語・日本舞踊):2プログラム6回(増減なし)	なし (わ〜く書っぷ(書家派遣事業)に移行したため)	—	—
わ〜く書っぷ(書家派遣事業) 【文化・生涯学習課】	書家を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※令和2年度より、あ〜とふるマイタウンより移行して実施。	なし (令和2年度新規事業)	実施プログラム3、実施回数3回(書プログラムとしては、前年度比3回減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	市民団体や、児童に普段はできない書を体験できる機会を提供することができた。	B 実施団体の満足度も高く、良い機会を提供できたと考えている。

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽・伝統芸能分野について、段階的に市より移管した。	派遣アーティスト7組19名、実施回数15回(前年度比3回増) <内訳> 音楽(①三味線2回、②サクソフォン・打楽器3回、③フルート・オーボエ・ピアノ2回、④クラリネット・サクソフォン・ピアノ2回、⑤マリンバ・パーカッション・ピアノ2回、⑥ギター2回)、ダンス2回	派遣アーティスト12組35名、実施回数11回(前年度比4回減) <内訳> 音楽(①三味線1回、②サクソフォン・打楽器1回、③フルート・オーボエ・ピアノ1回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑤マリンバ・パーカッション・ピアノ3回、⑥ピアノ2回、⑦ギター1回)、日本舞踊1回、落語1回、演劇1回、美術2回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12回中止。	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。 前年度実施のなかった美術、演劇分野でのアウトリーチも実施することができた。	B 市内で活動する若手音楽家5組を派遣しており、アーティストの経験値を上げることができた点も成果と考えている。
ふれあいセンター、ハーモニー春日井等でのコンサート 【文化・生涯学習課】	地元で活躍する音楽家を招き、市民が気軽に音楽を楽しむことができるコンサートを開催	・西部ふれあいセンター(フレッシュコンサート、セタコンサート、クリスマスコンサート)3回(増減なし) ・ハーモニー春日井(ウインターコンサート)1回(増減なし)	・西部ふれあいセンター(クリスマスコンサート)1回(前年度比2回減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、西部ふれあいセンターのコンサート2回とハーモニー春日井でのコンサート1回は中止。	地域住民を中心とした市民に身近で音楽を鑑賞できる機会を提供することができた。	B

イ 近隣美術館等との連携の推進

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがい熟年大学 【文化・生涯学習課】	高齢者が健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、学習の場を提供	熟年大学5コースのうち、芸術文化コースで県内や東濃地域の美術館の学芸員に講師を依頼 県内美術館の展覧会の内容に合わせた講義を実施 ①名古屋造形大学特任教授（豊田市美術館「クリムト展」）②岐阜県現代陶芸美術館学芸員	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	—	—

ウ 文化芸術強調月間(仮称)の創設

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
該当なし 【文化・生涯学習課】		文化芸術強調月間の創設を検討したが、気候の良い時期には既に多くの文化芸術関係の催事が実施されている現状で強調月間を創設しても、その効果は薄いと判断し、強調月間の創設は行わなかった。	文化芸術強調月間の創設を検討したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が中止されている状況から、強調月間の創設は行わなかった。	—	D 文化芸術協調月間創設の意義については、引き続き検討していく。

エ 幅広い分野の文化芸術を鑑賞・体験する機会の提供

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民美術展覧会 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託)】	市民が制作した美術作品(日本画・洋画・書・彫塑工芸・写真)の発表と鑑賞の場を提供	第68回展8月17日(土)～8月25日(日) 出品数703点(前年度比43点減)、鑑賞者10,035人(前年度比1,349人減) 会場:変更なし 出品資格:変更なし	第68回展8月15日(土)～8月23日(日) VR展8月21日(金)～9月30日(水) 出品数619点(前年度比84点減)、鑑賞者6,744人(前年度比3,291人減)、VR展2,349アクセス 会場:変更なし 出品資格:変更なし	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、審査員解説は中止としたが、感染症への対策を行った上で展覧会を行うことで、美術作品の発表・鑑賞の機会を提供することができた。 VR展を急ぎよ開催し、外出を自粛する鑑賞者への対応も実施できた。	B
市民第九演奏会 【文化・生涯学習課(実行委員会に事業委託<事務局:中部大学>)】	合唱及び演奏を行う市民に練習の場と発表の場を提供し、市民手作りの演奏会を開催	2019春日井市民第九演奏会12月8日(日) 出演者308人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団81人、合唱団180人、賛助出演42人)(前年度比20人減)、入場者839人(前年度比36人減)	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	—	—

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
短詩型文学祭 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託)】	短歌、俳句、川柳、狂俳(一般の部のみ)、詩の作品を公募し、入選作品を掲載した作品集を作成。作品展では特別賞受賞作品等を展示	第39回短詩型文学祭作品展 1月25日(土)~2月9日(日) 出品数:一般の部(高校生以上)764点、小・中学生の部24,801点、計25,565点(前年度比2,119点増)、鑑賞者3,830人(前年度比1,350人増) 会場:変更なし 出品資格:変更なし	第40回短詩型文学祭作品展 出品数:一般の部(高校生以上)844点、小・中学生の部22,809点、計23,653点(前年度比1,912点減) VR展 1月30日(土)~3月21日(日) 出品資格:変更なし ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、作品展と表彰式は中止。	新型コロナウイルス感染症の影響で、小中学生の部の出品は減少したが、一般の部の出品は増加した。作品展・表彰式は中止となったが、幅広い世代に、文芸作品の発表・鑑賞の機会を提供することができた。	B 認知度の向上が課題であり、より多くの市民に知っていただくための方策が必要と考えている。
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展) 【文化・生涯学習課(運営委員会に事業委託<事務局:かすがい市民文化財団>)】	書作品を全国から公募し、春日井市で生まれたと伝えられる小野道風の偉業を顕彰するとともに、展覧会を開催	第71回展10月27日(日)~11月4日(月・休) 出品数:一般部289点、学生部(高校生以下)5,630点、計5,919点(前年度比402点減)、鑑賞者:4,195人(前年度比882人減)、新たにインターネット上でVR展を実施:1,037アクセス 会場:名古屋展(愛知県美術館ギャラリー)を廃止、春日井駅(学生半紙の部特別賞受賞作品)<新規> 出品資格・出品料:変更なし	第72回展10月25日(日)~11月3日(火・休) 出品数:一般部336点、学生部(高校生以下)5,735点、計6,071点(前年度比152点増)、鑑賞者:5,908人(前年度比1,713人増)、VR展1,862アクセス(前年度比825アクセス増) 会場:文化フォーラム春日井・交流アトリウムを追加、春日井駅(学生半紙の部特別賞受賞作品)<継続> 出品資格・出品料:変更なし	書に力を入れている全国の高校に出品を依頼するなど「書のまち春日井」を全国発信するとともに、高いレベルの作品が数多く寄せられ、書道文化の振興を図ることができた。前年度から実施しているVR展により、外出自粛する鑑賞者に鑑賞機会を提供することができた。春日井駅での展示も大変好評であった。	B 出品数が減少傾向にあるため、新規出品者を呼び込む方策を引き続き検討し、実施していく必要と考えている。

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	舞台系:生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 1,888人、松竹大歌舞伎 1,940人、有門正太郎プレゼンツ アリプレ版ロミオとジュリエット 248人、ミュージカル「忍たま乱太郎」 2,815人、中部フィル春日井特別演奏会 658人、第29回日本舞踊鑑賞会 351人、首藤康之×CAVA レニングラード・ホテル 267人、KAKUTAのとびだす童話「ねこはしる」 259人、入船亭扇辰独演会 186人、石井正則～Sound of Story～197人、和装ハーピスト綾 和を愛でる114人 美術系:日ペンの美子ちゃん原画展 1,846人、一条ゆかり展 2,052人、歌人・鈴掛真×名古屋学芸大協働プロジェクト展 842人	舞台系:古関裕而コンサート 385人、ミュージカル「忍たま乱太郎」 1,375人、あいちオーケストラフェスティバル 440人、親子のためのファミリーシアター!「にんぎょひめ」 277人、津軽三味線☆三絃士コンサート 180人、日曜シネマ1,147人 美術系:杉山新一原画展 2,157人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、松竹大歌舞伎、山下洋輔スペシャルビッグバンドコンサートなど5事業を中止。浅田政志写真展、柳下美恵のピアノdeシネマなど5事業を翌年度以降に延期。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が中止又は翌年度以降に延期となったが、感染症対策を取って客席数を制限するなどしながら、芸術文化事業を展開し、貴重な鑑賞機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響で、大変厳しい状況であったが、出演者など関係各所と調整を重ね、市民に貴重な鑑賞機会を提供できた点は評価されるべきと考えている。 自主事業は、入場料のほか、市からの補助金や、文化庁・財団法人等からの助成金、個人・企業からの協賛金等で支出を賄っている。 令和2年度は、客席数を制限したこともあり自主財源比率(入場料+助成金+協賛金/支出)が約60%とやや低下した。

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】	小野道風の偉業を顕彰し後世に伝えるとともに、書専門の美術館として、様々な展覧会を開催	特別展「川谷尚亭の書」729人(前年度比240人増) 企画展「黒野清宇の書」1,167人(前年度比216人減) 企画展「おののとうふう～小野一族のひみつ～」1,045人(前年度比429人減) 館蔵品展 「近現代の書」985人 「書の魅力」3,044人 「読んで味わう書の世界」324人 年間観覧者数7,467人(前年比1,185人減)	特別展「王朝文学と古筆切」503人(前年度比226人減) 企画展「龍門造像記」1,412人(前年度比245人増) 企画展「おののとうふう～和様の書のうつりかわり～」700人(前年度比345人減) 館蔵品展 「つづき書きの妙」273人 「書の魅力」2,029人 年間観覧者数4,959人(前年比2,508人減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館あり。また、当初の会期や内容を一部変更して展覧会を開催した。	書を専門とし、毎回異なったテーマを設け、全ての展示を自主企画し、専門家から高評価を得る質の高い展覧会を開催することができた。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展示品解説動画を配信し、外出を自粛する鑑賞者や、外出を自粛する鑑賞者や実施できなくなった講演会の代替機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時休館することになったため、急きよ作品所蔵者等と調整し、年間計画を一部変更することで、鑑賞機会の提供に努めた。
ニュータウンきずな事業 【東部市民センター】	地域住民の再生と誇りの象徴である「どんぐり」をキーワードとした2つの事業と囲碁大会を開催	・どんぐり東部公民館まつり 6月15・16日、参加者2,220人(前年比224人増) ・どんぐりキッズ公民館 8月3日、参加者1,822人(前年比113人減) ・囲碁大会 2月11日、参加者48人(前年比8人減)	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	—	—

オ 舞台公演、展覧会等に関連した体験事業の開催

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	舞台系:かすがい日曜シネマ関連企画「はじめての茶道講座」11人、子ども向け演劇ワークショップねこはしるのワンシーンをつくろう18人 ※美術系:歌人・鈴掛真×名古屋学芸大協働プロジェクト展「初めての短歌ワークショップ」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	美術系:杉山新一原画展関連企画「工作紙飛行機をデザイン!」224名、「親子で挑戦!謎解きワークシート」100名	新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、実施可能な事業を選定し開催し、体験を通して、子供から大人まで作品への関心をより深める機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、貴重な体験機会を提供することができた。
道風記念館講座 【道風記念館】	書の鑑賞の手助けとなり、書に親しみを持ってもらえるような講座を開催	臨書講座「篆書・隸書の臨書」(全6回)57人(前年度比10人増) ※講座実施会場は長期にわたる補修工事のため、利用できなかったため、臨書講座のみの実施となった。	道風記念館講座「王朝文学と古筆切」(全4回×2)41人 ※初心者向けの臨書講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	受講することで、展示中の書への関心・理解を深める機会を提供することができた。	B
道風記念館講座 【道風記念館】	子ども向けの展覧会に合わせた、書に親しめるワークショップを開催	「道風くんチャレンジ!」80人、「秘密の特訓」128人、「はじめてのふで」128人、計336人<定員超過>	「秘密の特訓」96人、「はじめてのふで」72人、計168人<定員超過>	毎年切り口を変えて夏休みに開催している企画展にあわせてワークショップを開催。多くの小学生に体験の機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、貴重な体験機会を提供することができた。

(2) 子どもたちが文化芸術を体験する機会の提供

ア 子ども向け舞台公演、展覧会等の開催と関連する体験事業の実施

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財 団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	・松竹大歌舞伎小中高生向け演目解説 65人(前年度比14人増) ・親子わくわくプログラム KAKUTAのとびだす童話「ねこはしる」 259人 ※親子のためのはじめての音楽会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	・親子のためのファミリーシアター!「にんぎょひめ」 277人 ・親子のためのはじめての音楽会 270人	親子向けの公演を実施することで芸術文化に対する関心を高める機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、貴重な鑑賞機会を提供することができた。
道風記念館展示 道風記念館講座 【道風記念館】 《再掲》	子どもの書の鑑賞の手助けとなる解説をほどこした展示と、書に親しめるワークショップを開催	企画展「おののとうふう～小野一族のひみつ～」1,045人(前年度比429人減) 関連ワークショップ 「道風くんチャレンジ!」80人、「秘密の特訓」128人、「はじめてのふで」128人、計336人<定員超過>	企画展「おののとうふう～和様の書のうつりかわり～」700人(前年度比345人減) 関連ワークショップ 「秘密の特訓」96人、「はじめてのふで」72人、計168人<定員超過>	毎年切り口を変えて夏休みに開催している企画展にあわせてワークショップを開催。多くの小学生に体験の機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、貴重な体験機会を提供することができた。

イ 青少年鑑賞サポートプログラムの充実

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
学生の特券(青少年鑑賞サポートプログラム) 【かすがい市民文化財団】	高校生以下を対象に舞台系事業を500円又は無料で、美術系事業を無料で鑑賞できるプログラムを提供 ※令和2年度より「学生の特券」と名称を変更。	舞台系:生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 300人、松竹大歌舞伎 38人、アリブレ版ロミオとジュリエット 43人、日本舞踊鑑賞会 46人、首藤康之×CAVA「レニングラード・ホテル」 19人、KAKUTAのとびだす童話「ねこはしる」137人、入船亭扇辰4人、石井正則～Sound of Story～ 4人 美術系:日ペンの美子ちゃん原画展190人	舞台系:古関裕而コンサート 6人、親子のためのファミリーシアター!「にんぎょひめ」42人、津軽三味線☆三絃士コンサート 10人、かすがい日曜シネマ 24人 美術系:対象事業なし	小中高校生が芸術文化に直接触れる機会をサポートすることができた。 様々な分野のメニューを提供することができた。	B 青少年鑑賞サポートプログラム制度の定着により、古関裕而コンサートなど幅広い分野に学生を誘導することができた点も評価できると考えている。

ウ 小中学校への芸術家等の派遣

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
あ〜とふるマイタウン(芸術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	芸術家等を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※伝統芸能分野も文化財団に移管し、「かすがいどこでもアート・ドア」事業で実施。	実施プログラム5、実施回数12回(前年度比9回減) <内訳> 書(篆刻を含む):3プログラム6回(前年度比3回増) 伝統芸能(落語・日本舞踊):2プログラム6回(増減なし)	なし (わ〜く書っぷ(書家派遣事業)に移行したため)	—	—
わ〜く書っぷ(書家派遣事業) 【文化・生涯学習課】	書家を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※令和2年度より、あ〜とふるマイタウンより移行して実施。	なし (令和2年度新規事業)	実施プログラム3、実施回数3回(書プログラムとしては、前年度比3回減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回中止。	市民団体や、児童に普段はできない書を体験できる機会を提供することができた。	B 実施団体の満足度も高く、良い機会を提供できたと考えている。

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財 団】 《再掲》	学校や保育園、福祉 施設などにアーティスト を派遣し、特別授業 やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタ ウン事業」のうち、音 楽・伝統芸能分野に ついて、段階的に市よ り移管した。	派遣アーティスト7組19名、実 施回数15回(前年度比3回 増) <内訳> 音楽(①三味線2回、②サク ソフォン・打楽器3回、③フル ート・オーボエ・ピアノ2回、④ クラリネット・サクソフォン・ピ アノ2回、⑤マリンバ・パーカ ッション・ピアノ2回、⑥ギター 2回)、ダンス2回	派遣アーティスト12組35名、 実施回数11回(前年度比4回 減) <内訳> 音楽(①三味線1回、②サク ソフォン・打楽器1回、③フル ート・オーボエ・ピアノ1回、④ ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ 1回、⑤マリンバ・パーカッショ ン・ピアノ3回、⑥ピアノ2回、 ⑦ギター1回)、日本舞踊1 回、落語1回、演劇1回、美術 2回 ※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、12回中止。	文化財団のミッションに 基づく普及啓発事業の柱 として実施し、幼児や高 齢者など交通手段が限ら れる人々に芸術を身近で 感じられる機会を提供す ることができた。 前年度実施のなかった美 術、演劇分野でのアウトリ ーチも実施することがで きた。	B

(3) 働く世代、若い世代の文化活動の促進

ア 親子と一緒に鑑賞・体験できる事業の充実

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	舞台系:松竹大歌舞伎小中高生向け演目解説 65人、親子わくわくプログラムKAKUTAのとびだす童話「ねこはしる」 259人 ※親子のためのはじめての音楽会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	・親子のためのファミリーシアター!「にんぎょひめ」 277人 ・親子のためのはじめての音楽会 270人	親子向けの公演を実施することで芸術文化に対する関心を広める機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、貴重な鑑賞機会を提供することができた。
学生の特券(青少年鑑賞サポートプログラム) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	高校生以下を対象に舞台系事業を500円又は無料で、美術系事業を無料で鑑賞できるプログラムを提供 ※令和2年度より「学生の特券」と名称を変更。	舞台系:生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 300人、松竹大歌舞伎 38人、アプレ版ロミオとジュリエット 43人、日本舞踊鑑賞会 46人、首藤康之×CAVA「レニングラード・ホテル」 19人、KAKUTAのとびだす童話「ねこはしる」137人、入船亭扇辰4人、石井正則～Sound of Story～ 4人 美術系:日ペンの美子ちゃん原画展190人	舞台系:古閑裕而コンサート6人、親子のためのファミリーシアター!「にんぎょひめ」42人、津軽三味線☆三絃士コンサート 10人、かすがい日曜シネマ 24人 美術系:対象事業なし	小中高校生が芸術文化に直接触れる機会をサポートすることができた。 様々な分野のメニューを提供することができた。	B 青少年鑑賞サポートプログラム制度の定着により、古閑裕而コンサートなど幅広い分野に学生を誘導することができた点も評価できると考えている。

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがい文化フェスティバル 【かすがい市民文化財団】	茶華道や和楽器などの伝統文化や工作、書道などを体験できるワークショップを開催	・スペシャルデイ 7月28日(日) オープニングコンサート 110人、13講座×2回352人(協力:文化協会・美術協会) ・ワークショップ 8月1日(木)~29日(木) 5講座 164人 ・夕涼みシネマ 8月17日(土) 415人	・ワークショップ 8月10日(月・祝)・13日(木) 1講座 22組74人 ・夕涼みシネマ 8月15日(土) 106人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スペシャルデイ及びワークショップ4回中止。	外出機会の少なくなってしまった子ども達に、貴重な機会を提供することができた。	B
道風記念館展示 道風記念館講座 【道風記念館】 《再掲》	子どもの書の鑑賞の手助けとなる解説をほどこした展示と、書に親しめるワークショップを開催	企画展「おののとうふう～小野一族のひみつ～」1,045人(前年度比429人減) 関連ワークショップ 「道風くんにチャレンジ!」80人、「秘密の特訓」128人、「はじめてのふで」128人 計336人<定員超過>	企画展「おののとうふう～和様の書のうつりかわり～」700人(前年度比345人減) 関連ワークショップ 「秘密の特訓」96人、「はじめてのふで」72人、計168人<定員超過>	毎年切り口を変えて夏休みに開催している企画展にあわせてワークショップを開催。多くの小学生に体験の機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、貴重な体験機会を提供することができた。

イ 託児付き鑑賞事業等の充実

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (舞台系事業) 【かすがい市民文化財 団】 《再掲》	ファミリー向け公演の うち、対象年齢が設定 されている公演など で託児サービス(有 料)を実施	・生で聴く“のだめカンタービ レ”の音楽会 利用者5人 「親子わくわくプログラム KAKUTAのとびだす絵本 ね こはしる」では、0歳から入場 可能のため、託児サービス利 用者なし。	なし	新型コロナウイルス感染 症の影響下で、安全安心 なサービス提供が可能 か、ニーズはあるのか等 を検討した結果、実施し なかった。	D 利用者が支払う料金 のほかに、1公演あた り約5万円を文化財 団が負担する必要が あるため、費用対効 果を考慮し、サービス を提供している。

ウ 働いている人も参加しやすい時間での鑑賞事業等の開催

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (昼コン・夜コン) 【かすがい市民文化財 団】	おしゃべりを交えた気 軽に聴けるコンサートを 金曜日の夜と土曜 日の昼に開催	昼コン 4~6、9~11月、土曜 日14:00~ 6回計1,540人 (前年度比80人減) 夜コン 4~6、9~11月、金曜 日+特別編(11月7日(木))19: 00~ 7回計1,035人(前年度 比1回増、95人減)	昼コン 9~10月、土曜日14: 00~ 2回計493人 夜コン 9~11月、金曜日19: 00~ 4回計832人 ※4~6月に実施予定であった 6回は新型コロナウイルス感染 症拡大防止のため、中止となっ てしまったため、後日出演者の 動画を配信した。	新型コロナウイルス感染 症対策を行った上で、9 月からコンサートを実施 することができ、気軽に音 楽を鑑賞できる貴重な機 会を提供することができ た。	B

エ 文化活動を行う市民が発表する場の提供

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民美術展覧会 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託)】 《再掲》	市民が制作した美術作品(日本画・洋画・書・彫塑工芸・写真)の発表と鑑賞の場を提供	第68回展8月17日(土)～8月25日(日) 出品数703点(前年度比43点減)、鑑賞者10,035人(前年度比1,349人減) 会場:変更なし 出品資格:変更なし	第68回展8月15日(土)～8月23日(日) VR展8月21日(金)～9月30日(水) 出品数619点(前年度比84点減)、鑑賞者6,744人(前年度比3,291人減)、VR展2,267アクセス 会場:変更なし 出品資格:変更なし	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、審査員解説は中止としたが、感染症への対策を行った上で展覧会を行うことで、美術作品の発表・鑑賞の機会を提供することができた。 VR展を急ぎよ開催し、外出を自粛する鑑賞者への対応も実施できた。	B
市民第九演奏会 【文化・生涯学習課(実行委員会に事業委託<事務局:中部大学>)】 《再掲》	合唱及び演奏を行う市民に練習の場と発表の場を提供し、市民手作りの演奏会を開催	2019春日井市民第九演奏会12月8日(日) 出演者308人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団81人、合唱団180人、賛助出演42人)(前年度比20人減)、入場者839人(前年度比36人減)	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	—	—

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
短詩型文学祭 【文化・生涯学習課(かすがい市民文化財団に事業委託)】 《再掲》	短歌、俳句、川柳、狂俳(一般の部のみ)、詩の作品を公募し、入選作品を掲載した作品集を作成。作品展では特別賞受賞作品等を展示	第39回短詩型文学祭作品展 1月25日(土)~2月9日(日) 出品数 一般の部(高校生以上)764点、小・中学生の部24,801点、計25,565点(前年度比2,119点増)、鑑賞者3,830人(前年度比1,350人増) 会場:変更なし 出品資格:変更なし	第40回短詩型文学祭作品展 出品数:一般の部(高校生以上)844点、小・中学生の部22,809点、計23,653点(前年度比1,912点減) VR展 1月30日(土)~3月21日(日) 出品資格:変更なし ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、作品展と表彰式は中止。	新型コロナウイルス感染症の影響で、小中学生の部の出品は減少したが、一般の部の出品は増加した。作品展・表彰式は中止となったが、幅広い世代に、文芸作品の発表・鑑賞の機会を提供することができた。	B 認知度の向上が課題であり、より多くの市民に知っていただくための方策が必要と考えている。
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展) 【文化・生涯学習課(運営委員会に事業委託<事務局:かすがい市民文化財団>)】 《再掲》	書作品を全国から公募し、春日井市で生まれたと伝えられる小野道風の偉業を顕彰するとともに、展覧会を開催	第71回展10月27日(日)~11月4日(月・休) 出品数:一般部289点、学生部(高校生以下)5,630点、計5,919点(前年度比402点減)、鑑賞者:4,195人(前年度比882人減)、新たにインターネット上でVR展を実施:1,037アクセス 会場:名古屋展(愛知県美術館ギャラリー)を廃止、春日井駅(学生半紙の部特別賞受賞作品)<新規> 出品資格・出品料:変更なし	第72回展10月25日(日)~11月3日(火・休) 出品数:一般部336点、学生部(高校生以下)5,735点、計6,071点(前年度比152点増)、鑑賞者:5,908人(前年度比1,713人増)、VR展1,862アクセス(前年度比825アクセス増) 会場:文化フォーラム春日井・交流アトリウムを追加、春日井駅(学生半紙の部特別賞受賞作品)<継続> 出品資格・出品料:変更なし	書に力を入れている全国の高校に出品を依頼するなど「書のまち春日井」を全国発信するとともに、高いレベルの作品が数多く寄せられ、書道文化の振興を図ることができた。前年度から実施しているVR展により、外出自粛する鑑賞者に鑑賞機会を提供することができた。春日井駅での展示も大変好評であった。	B 出品数が減少傾向にあるため、新規出品者を呼込む方策を引き続き検討し、実施していく必要と考えている。

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
アトリウム音楽祭 【かすがい市民文化財 団】	市内外で活動してい るアマチュア音楽団 体が日頃の成果を 発表する音楽発表 会	9月7日(土)・8日(日)15 団体、220人出演(前 年度比75人減)、鑑 賞者1,019人(前 年度比208人増) ※3月7日(土)・8 日(日)16団体出 演で実施予定だっ たが、新型コロナウイルス 感染症拡大防止の ため中止。	9月20日(日)・21 日(月・祝)・26日 (土)・27日(日) 13団体、197人 出演、鑑賞者598 人 3月20日(土・祝) ・21日(日)8団 体、151人出演、 鑑賞者440人 年間計21団体、 348人出演(前 年度比128人増)、 鑑賞者1,038人 (前年度比19人 増)	新型コロナウイルス感 染症対策として、1 日の出演団体を減 らし、舞台・控室 等に密が発生しな いよう工夫し、発 表の機会を提供す ることができた。 また、客席数を制 限し、検温や消毒 を徹底するなど、 観客にも安心して 楽しめる鑑賞機 会を提供することが できた。	B 新型コロナウイルス 感染症の影響下 にもかかわらず 、発表と鑑賞の 機会を提供する ことができると は成果があった と考えている。
道風 の書臨書作品展 【道風記念館】	三跡(小野道風、 藤原佐理、藤原 行成)の書を課 題とし、臨書作 品を全国から公 募 開館以来継続し て展覧会を開催	第38回展1月10 日(金)～19日(日) 出品数:一般部/ 屏風土代255点、 伊予切282点 高校生の部/ 屏風土代2,766 点、本阿弥切24 5点、合計3,548 点(前年比106点 減) 鑑賞者:348人 (前年比8人減) 会場:変更なし 出品資格・出品 料:変更なし	第39回展1月9 日(土)～17日(日) 出品数:一般部/ 白氏詩巻257点、 継色紙294点 高校生の部/ 玉泉帖2,588点、 小島切119点、 合計3,258点 (前年比290点 減) 鑑賞者:588人 (前年比240人 増) 会場:変更なし 出品資格・出品 料:変更なし	小野道風を始め とした三跡の和 様の書を学び、 鑑賞する機会を 提供することで 、小野道風の顕 彰を行うことが できた。 全国各地から 応募があり、 広く「書のまち 春日井」を発信 することができ た。	B

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
公民館まつり・ふれあいセンター芸能発表会 【各公民館・各ふれあいセンター】	公民館・ふれあいセンターで活動する同好会の成果発表会を開催	中央公民館 26団体出演・出展、延べ参加者1,672人 東部公民館 23団体出演・出展、延べ参加者2,220人 南部ふれあいセンター 延べ参加者367人 西部ふれあいセンター 延べ参加者1,358人 ※知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	知多公民館 9団体出展、延べ参加者115人 鷹来公民館 10団体出展、延べ参加者68人 坂下公民館 19団体出展、延べ参加者312人 ※中央公民館、東部公民館、南部・西部ふれあいセンターでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	地域で活動する様々な団体に成果発表の機会を提供するとともに、各団体の交流を図ることができた。	B ※開催分についての み評価
ハーモニーフェスティバル 【青年の家】	ハーモニー春日井で活動する同好会の成果発表会を開催	15団体出演、延べ参加者714人(前年度比208人増) 20回記念のため、例年にない複数団体(市民吹奏楽団、市交響楽団、和太鼓2団体、篠笛)によるコラボレーション演奏も実施。	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	—	—

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
レディヤン祭 【男女共同参画課】	登録団体の交流を図り活動発表を実施することで、活動の周知や男女共同参画社会に向けた意識づくりの機会とする	第28回12月14日(土)来場者2,000人(前年度比700人減) ・活動団体によるステージ発表8団体(前年度比1団体減) ・活動団体による体験教室16団体(前年度比1団体増) ・スタンプラリー、招へい事業(音楽アンサンブル)ほか	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 代替企画として、レディヤンかすがいのロビーで認定団体の活動紹介を展示 12月17日(木)~12月27日(日)	—	—

(4) 高齢者、障がい者等の鑑賞機会の充実

ア 高齢者、障がい者等にも配慮した鑑賞機会の提供

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財 団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	舞台系:生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 1,888人、松竹大歌舞伎 1,940人、有門正太郎プレゼンツアリプレ版ロミオとジュリエット 248人、中部フィル春日井特別演奏会 658人、第29回日本舞踊鑑賞会 351人、首藤康之×CAVA レニングラード・ホテル 267人、入船亭扇辰独演会 186人、石井正則～Sound of Story～ 197人、和装ハーピスト綾 和を愛でる114人 日曜シネマ(全4回)にてボランティア団体の協力を得て聴覚障がい者のためのシーンボイスガイドを実施。	舞台系:古閑裕而コンサート 385人、ミュージカル「忍たま乱太郎」 1,375人、あいちオーケストラフェスティバル 440人、親子のためのファミリーシアター!「にんぎょひめ」 277人、津軽三味線☆三絃士コンサート 180人、日曜シネマ 1,147人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、松竹大歌舞伎、山下洋輔スペシャルビッグバンドコンサートなど5事業を中止。浅田政志写真展、柳下美恵のピアノdeシネマなど5事業を翌年度以降に延期。 日曜シネマ(全4回)にてボランティア団体の協力を得て聴覚障がい者のためのシーンボイスガイドを実施。	各舞台公演で車いす席を設定、映画上映会でシーンボイスガイドを実施するなど高齢者や障がい者等にも配慮した鑑賞機会を提供することができた。	B

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	小野道風の偉業を顕彰し後世に伝えるとともに、書専門の美術館として、様々な展覧会を開催	特別展「川谷尚亭の書」729人(前年度比240人増) 企画展「黒野清宇の書」1,167人(前年度比216人減) 館蔵品展 「近現代の書」985人 「書の魅力」3,044人 「読んで味わう書の世界」324人 年間観覧者数7,467人(前年比1,185人減)	特別展「王朝文学と古筆切」503人(前年度比226人減) 企画展「龍門造像記」1,412人(前年度比245人増) 館蔵品展 「つづけ書きの妙」273人 「書の魅力」2,029人 年間観覧者数4,959人(前年比2,508人減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館あり。また、当初の会期や内容を一部変更して展覧会を開催した。	書を専門とし、毎回異なったテーマを設け、全ての展示を自主企画し、専門家から高評価を得る質の高い展覧会を開催することができた。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展示品解説動画を配信し、外出を自粛する鑑賞者や実施できなくなった講演会の代替機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時休館することになったため、急きよ作品所蔵者等と調整し、年間計画を一部変更することで、鑑賞機会の提供に努めた。
福祉の里レインボープラザでの事業 【社会福祉協議会】	「ハッピーコンサート」等の開催により鑑賞の機会を提供し、「だれでもアーティスト」等の開催により発表と鑑賞の機会を提供	鑑賞事業:ハッピーコンサート<5回> 770人、レインボーシネマ<10回> 45人、クリスマスコンサート 122人 参加・鑑賞事業:だれでもアーティスト 参加・鑑賞者135人、演芸フェスタ 参加・鑑賞者 49人、軽音楽のタベ 参加・鑑賞者 74人	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	—	—

イ 福祉施設、病院等での文化事業の開催

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
あ〜とふるマイタウン(芸術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	芸術家等を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※音楽分野に加え、令和2年度より伝統芸能分野も文化財団に移管し、「かすがいどこでもアート・ドア」事業で実施。	実施プログラム5、実施回数12回(前年度比9回減) ＜内訳＞ 書(篆刻を含む):3プログラム6回(前年度比3回増) 伝統芸能(落語・日本舞踊):2プログラム6回(増減なし)	なし (わ〜く書っぷ(書家派遣事業)に移行したため)	—	—
かすがいどこでもアート・ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽・伝統芸能分野について、段階的に市より移管した。	派遣アーティスト7組19名、実施回数15回(前年度比3回増) ＜内訳＞ 音楽(①三味線2回、②サクソフォン・打楽器3回、③フルート・オーボエ・ピアノ2回、④クラリネット・サクソフォン・ピアノ2回、⑤マリンバ・パーカッション・ピアノ2回、⑥ギター2回)、ダンス2回	派遣アーティスト12組35名、実施回数11回(前年度比4回減) ＜内訳＞ 音楽(①三味線1回、②サクソフォン・打楽器1回、③フルート・オーボエ・ピアノ1回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑤マリンバ・パーカッション・ピアノ3回、⑥ピアノ2回、⑦ギター1回)、日本舞踊1回、落語1回、演劇1回、美術2回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12回中止。	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。 前年度実施のなかった美術、演劇分野でのアウトリーチも実施することができた。	B 市内で活動する若手音楽家6組を派遣しており、アーティストの経験値を上げることができた点も成果と考えている。

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値		
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度
文化芸術の活動をしている人の割合	14.5%	20.0%	25.0%	2021年度に測定	2021年度に測定	2021年度に測定

施策ごとの評価

事業の評価		特記事項
A	計画以上の成果が得られた。	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、実施できた事業は例年の半分程度であった。そうした中、文化財団の事業を中心に、感染症対策を取った上で、質の高い魅力的な事業が実施され、市民が、拠点となる文化施設又は身近な施設で芸術を鑑賞できる機会が提供されており、評価できる。</p> <p>また、小中高校生など若い世代に対し鑑賞を促すような取り組みや、高齢者に対する鑑賞機会の提供も引き続きなされており、いずれも評価できる。</p> <p>前年度同様、文化活動に取り組んでいる市民に対し、様々な発表の場が提供されている点は評価できるが、活動を自粛する市民も多かったと推定されるので、感染症が治まった後そういった対応が可能なのか、どういった対応が市民から求められるのか、対応策の検討が望まれる。</p>
B	概ね計画どおりの成果が得られた	
C	成果が得られた事業が多かった	
D	成果が得られた事業は少なかった	
E	成果は得られなかった	

施策② 次世代の文化活動を担う人材の育成

施策ごとの事業の成果

(1) 若手芸術家等の活動の支援

ア 若手美術家等の作品を取り上げる展覧会の開催

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財 団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	鈴掛真×名古屋学芸大協働プロジェクト展 842人 鈴掛真と名古屋学芸大学映像メディア学科の学生による「言葉」をテーマに表現方法を探る協働プロジェクト 鈴掛の短歌を選び、学生自身の解釈で、映像や写真、インスタレーション作品などを制作 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期中で中止。	若手美術家等の作品を取りあげる展覧会の開催なし	若手美術家の展覧会は、年間ラインナップの中で候補に挙がったが、諸条件で折り合わず、翌年度開催の方向となった。	D

イ 若手音楽家等の自主的活動の支援

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (若手音楽家支援事業) 【かすがい市民文化財 団】	若手音楽家を3年間にわたり活動支援するプログラム。1年目にあたり、ワンコインコンサートを開催	ワンコインコンサート(入場料500円のコンサート) ・ASTER 10月25日(金) 72人 ・Xmas Special 12月7日(土) 4団体出演、342人 ・MeisA 12月27日(金) 159人 ※Trombone Ensemble Gaio 3月13日(金)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次年度に延期。	ワンコインコンサート(入場料500円のコンサート) ・Trombone Ensemble Gaio 11月1日(日) 104人 ・チョコっと延期「バレンタインコンサート」3月20日(土・祝) 3団体出演、129人	地域に根差した音楽家を育成する第1歩として、若手音楽家に発表の機会を提供することができた。若手音楽家支援事業3年目となり、第2期登録アーティスト3組による合同コンサートを実施。これをきっかけに出演依頼を受ける団体もあり、今後の活動を支援することができた。	B

ウ 幅広い分野での文化活動を行う市民等への支援

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化活動事業助成 【文化・生涯学習課】	芸術文化振興を図るため、文化活動団体が行う事業に対して補助金を交付	<ul style="list-style-type: none"> ・春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団 ・文化スポーツイベント補助金交付要綱による補助 周年記念事業実施1団体 国内での文化事業への参加2団体、個人2人 	<ul style="list-style-type: none"> ・春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団 ・文化スポーツイベント補助金交付要綱による補助 周年記念事業実施 なし 国内での文化事業への参加なし 	文化活動団体への補助金交付により、市民の文化活動の支援を行うことができた。	B

(2) 芸術家等と市民との交流の促進

ア 若手芸術家によるワークショップ等の開催

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財 団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	みんなの美術部 (1) 美術家/本山ゆかり 44人 (2) イラストレーター/三輪布巳子 63人 (3) グラフィックデザイナー/太田米香 41人 ・ヒット曲で踊るダンス教室 ダンサー・振付家/服部哲郎 2回、40人 ※ヒット曲で踊るダンス教室2回と、鈴掛真×名古屋学芸大協働プロジェクト展 関連事業「初めての短歌ワークショップ」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	・みんなの美術部 (1) 日本画家/芝康弘 41人 (2) イラストレーター/三輪布巳子 40人 (3) イラストレーター/安藤シオン 61人 (4) 美術作家/長瀬崇裕 21人	令和元年度から始まったみんなの美術部は誰でも参加できる部活として、様々なジャンルの講師を迎え講座を開催。作品制作だけでなく鑑賞することや話し合う時間も重視して実施し、作品制作と鑑賞の機会を提供することができた。	A 若手芸術家と参加者との間の交流だけでなく、参加者間の交流を深めることができ、大きな成果があったと考えている。

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがい文化フェスティバル 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	茶華道などの伝統文化や工作、書道などを体験できるワークショップを開催	若手芸術家によるワークショップ 8月1日(木)「和紙で作ろう!自分だけのアイスクリーム」33人、8月15日(木)「みんなで踊ろう!オリジナルダンス」13人、8月22日(木)「段ボールや廃材でオリジナル変身マスクを作ろう!」17人	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施しなかった。	—	—

イ 小中学校への芸術家等の派遣

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
あ〜とふるマイタウン(芸術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	芸術家等を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※音楽分野に加え、令和2年度より伝統芸能分野も文化財団に移管し、「かすがいどこでもアート・ドア」事業で実施。	実施プログラム5、実施回数12回(前年度比9回減) <内訳> 書(篆刻を含む):3プログラム6回(前年度比3回増) 伝統芸能(落語・日本舞踊):2プログラム6回(増減なし)	なし (わ〜く書っぶ(書家派遣事業)に移行したため)	—	—

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財 団】 《再掲》	学校や保育園、福祉 施設などにアーティスト を派遣し、特別授業 やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタ ウン事業」のうち、音 楽・伝統芸能分野に ついて、段階的に市よ り移管した。	派遣アーティスト7組19名、実 施回数15回(前年度比3回 増) <内訳> 音楽(①三味線2回、②サク ソフォン・打楽器3回、③フル ート・オーボエ・ピアノ2回、④ クラリネット・サクソフォン・ピ アノ2回、⑤マリンバ・パーカ ヂョン・ピアノ2回、⑥ギター 2回)、ダンス2回	派遣アーティスト12組35名、 実施回数11回(前年度比4回 減) <内訳> 音楽(①三味線1回、②サク ソフォン・打楽器1回、③フル ート・オーボエ・ピアノ1回、④ ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ 1回、⑤マリンバ・パーカッショ ン・ピアノ3回、⑥ピアノ2回、 ⑦ギター1回)、日本舞踊1 回、落語1回、演劇1回、美術 2回 ※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、12回中止。	文化財団のミッションに 基づく普及啓発事業の柱 として実施し、幼児や高 齢者など交通手段が限ら れる人々に芸術を身近で 感じられる機会を提供す ることができた。 中学校に派遣したギタリ ストの井草氏は、演奏だ けでなく、学生時代の経 験を通じたメッセージを 伝えることができ、昨年度 同様大変好評であった。 前年度実施のなかった美 術、演劇分野でのアウトリ ーチも実施することがで きた。	B 市内で活動する若手 音楽家6組を派遣し ており、アーティストの 経験値を上げること ができた点も成果と 考えている。

(3) 文化活動団体等の活動の促進

ア 文化活動団体等の活発な活動の促進

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化活動事業助成 【文化・生涯学習課】	芸術文化振興を図るため、文化活動団体が行う事業に対して補助金を交付	<ul style="list-style-type: none"> ・春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団 ・文化スポーツイベント補助金交付要綱による補助 周年記念事業実施1団体 国内での文化事業への参加 2団体、個人2人 	<ul style="list-style-type: none"> ・春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 文化協会、美術協会、市民音楽連盟、交響楽団、児童合唱団 ・文化スポーツイベント補助金交付要綱による補助 周年記念事業実施 なし 国内での文化事業への参加なし 	文化活動団体及び全国大会に出場する個人への補助金交付により、市民の文化活動の支援を行うことができた。	<p>B</p> <p>文化活動団体の会員数が減少しており、補助金交付以外の支援策を引き続き検討していく必要があると考えている。</p>
共催事業 【かすがい市民文化財団】	文化活動団体の活動を支援するため、様々な団体との共催事業を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・かすがい人形劇フェスティバル 主催:愛知県人形劇協会、かすがい人形劇フェスティバル実行委員会 ・第27回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル 主催:春日井市高等学校吹奏楽協議会 ・とっておきのクリスマスコンサート 主催:春日井児童合唱団 	<ul style="list-style-type: none"> ・とっておきのクリスマスコンサート 主催:春日井児童合唱団 ※かすがい人形劇フェスティバル、春日井市高等学校吹奏楽フェスティバルは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 	文化財団の持つ専門技術や経験を活かし、各団体が実施する事業を共催という形で支え、文化活動団体の活動を支援することができた。	<p>B</p>

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
舞台制作セミナー 【かすがい市民文化財団】	文化財団の持つ専門技術や経験を基に、照明・音響・舞台技術の基礎知識を伝えるセミナーを実施	・舞台制作セミナー高校吹奏楽版:会場/市民会館、参加者14人(参加校:春日井西高校、春日井東高校、高蔵寺高校) ・舞台制作セミナー高校演劇版:会場/春日井高校、参加者29人(参加校:春日井高校)	・舞台制作セミナー高校吹奏楽版:会場/市民会館、参加者10人(参加校:春日井南高校、高蔵寺高校) ・舞台制作セミナー高校演劇版:会場/市民会館、参加者32人(参加校:春日井高校、春日井市商業高校)	実際の舞台道具を用いて舞台に関する専門技術を高校生に伝えることで、高校生の文化活動を支援することができた。	B

イ 文化活動団体等による体験講座の支援

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化活動事業助成 【文化・生涯学習課】 《再掲》	芸術文化振興を図るため、文化活動団体が行う事業に対して補助金を交付	春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 ・文化協会/入門講座10講座 ・市民音楽連盟/ワークショップ1講座、初心者講習会1講座	春日井市文化振興補助金交付要綱による補助 ・文化協会/入門講座4講座 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化協会/入門講座6講座と市民音楽連盟/ワークショップ1講座、初心者講習会1講座は中止。	初心者向けの講座を実施する文化活動団体への補助金交付により、市民の文化活動の支援を行うことができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値		
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度
若手音楽家等の学校派遣による特別授業の受講 児童・生徒数	653人	700人	800人	569人	405人	1,126人

< 参考 >	基準値	実績値		
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度
高校生以下を対象とするアウトリーチ事業の実施回数	23回	18回	13回	9回

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた	
B 概ね計画どおりの成果が得られた	
C 成果が得られた事業が多かった	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、若手芸術家の活動は大変難しい状況であったと思われるが、昼コン・夜コンの代替として、若手音楽家が出演する映像を配信するなど、支援策が講じられており評価できる。</p>
D 成果が得られた事業は少なかった	<p>成果指標としている「若手音楽家等の学校派遣による特別授業の受講児童・生徒数」は増加し、前年度は実施のなかった美術分野と演劇分野のアウトリーチ事業も実施されている。子どもたちにとって、良い体験機会が提供できていると認められ、評価できる。</p>
E 成果は得られなかった	<p>また、文化活動団体等に対する支援について、継続的な支援ができている点は評価できる。</p>
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響もあり、文化活動団体の活動が厳しくなると想定されるので、引き続きその支援策の検討が望まれる。</p>

施策③ 知りたい人に届く文化情報発信

施策ごとの事業の成果

(1) 幅広く効果的な文化情報発信

ア インターネットで地域の文化情報の発信

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井市ホームページ 【広報広聴課】	市民に必要な情報を迅速に提供するため、市ホームページという媒体を活用して情報を発信	・毎月15日号広報春日井に掲載した「まちのイベントニュース」を春日井市ホームページでも掲載	・毎月15日号広報春日井に掲載した「まちのイベントニュース」を春日井市ホームページでも掲載	市民グループの発表会などの情報を幅広く発信することができた。	B
文化財団ホームページ 【かすがい市民文化財団】	文化財団の実施している事業の情報や、管理運営している文化フォーラム春日井及び春日井市民会館の情報を発信	・施設のイベントカレンダーを作成し、市民グループの発表会や作品展などの情報を文化財団ホームページに掲載	・施設のイベントカレンダーを作成し、市民グループの発表会や作品展などの情報を文化財団ホームページに掲載	文化財団の事業だけではなく、市民グループの発表会などの情報を幅広く発信することができた。	B

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
外部団体が運営するインターネットサイトへの情報提供 【道風記念館】	道風記念館の施設情報や展覧会情報等を、外部サイトを通して発信	愛知県生涯学習情報提供システム「学びネットあいち」 日本観光振興協会「観るなび」 Internet Museum DNP Museum information Japan 「art scape」 子供とお出かけ情報サイト「いこーよ」	愛知県生涯学習情報提供システム「学びネットあいち」 日本観光振興協会「観るなび」 Internet Museum DNP Museum information Japan 「art scape」 子供とお出かけ情報サイト「いこーよ」	外部の情報サイトを活用することで、幅広い層に情報発信を行うことができた。	B
生涯学習情報サイト「まなびや選科」 【文化・生涯学習課】	市内で活動する団体や、市内で活躍する講師の情報及び公民館等で開催されるイベントや講座情報を発信	講師登録者294人(前年度比23人増、新規登録者28人、削除者5人) 団体登録数146団体(前年度比7団体減、新規登録団体5、削除団体12) サイトアクセス数37,374件(前年度比4,219件減)	講師登録者296人(前年度比2人増、新規登録者17人、削除者15人) 団体登録数138団体(前年度比8団体減、新規登録団体3、削除団体11) サイトアクセス数26,207(前年度比11,167件減)	公民館やふれあいセンター等で活動する生涯学習活動団体及び、講師として活動する市民の情報発信を行うことができた。 高齡化で活動を取りやめる団体もあった。	B アクセス数が低下しており、サイトの周知方法を検討する必要があると考えている。

イ 市民の意見や入場者数等の分析に基づく情報発信の改善

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財 団】 《再掲》	幅広く、質の高い魅力的な事業を実施し、年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	各事業でアンケートを実施し、そこに記載された興味・関心のあるジャンルを基に公演案内を送付 チケット管理システムに蓄積された過去のチケット購買履歴を基に公演案内を送付	各事業でアンケートを実施し、そこに記載された興味・関心のあるジャンルを基に公演案内を送付 チケット管理システムに蓄積された過去のチケット購買履歴を基に公演案内を送付	情報を求めている顧客に効率的に情報を届けることができた。	B

ウ 文化財団広報誌「FORUM PRESS」等での文化芸術の魅力の発信

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団広報誌「FORUM PRESS」 【かすがい市民文化財団】	自主文化事業を中心とした芸術文化情報及び施設に関する情報を掲載した情報誌を発行	A4サイズ16ページ フルカラー 隔月(年6回)10,000部 ・自主文化事業に関する情報 ・FORUM PRESSレポーター(ボランティア)による公演感想記「わたしのレポート」 ・春日井に関わる人にインタビューした「あの人と、春日井と」 ・「校歌は地域をうたう」「PiPi 提携ショップガイド」などの地域にまつわるコンテンツ	4回発行 98号はA4サイズ12ページ3,000部、99号は同6000部、100号はA4サイズ24ページ、8,000部、101号よりB5サイズにリニューアルし、20ページ7,000部発行。 ・100号では特集「20の言葉」でこれまで取り上げたアーティスト20人の言葉を紹介。 ・FORUM PRESSレポーター(ボランティア)による公演感想記「わたしのレポート」や「あの人と、春日井と」など地域にまつわるコンテンツをリニューアル後も継続して掲載。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、施設や催事での紙媒体の配布が難しかったが、これから開催される自主事業に関する情報だけではなく、記事を読んで興味がわくような情報発信を行うことができた。 読者アンケートでも大変好評であり、施設や文化財団の事業についてだけでなく、春日井市の魅力をPRすることができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響で、紙媒体の配布が難しくなっている。 そういった中で、リニューアルすることで、新たな方向性を探っていくことができていると考えている。
道風記念館情報誌「道風記念館だより」 【道風記念館】	収蔵品の紹介や展示案内、書に関する情報を掲載した便りを発行	B5サイズ8ページモノクローム 年1回5,000部 ・収蔵品紹介 ・展覧会や講座などの事業に関する情報 ・小野道風を始め、書に関する情報	B5サイズ4ページモノクローム 年4回3,000部 年1回の発行だったものを年4回発行に拡大。開催時期に合わせた展覧会情報を掲載。 研究者による書に関する連載記事等、有益な書の情報を掲載。	発行回数を増やすことにより、開催時期に合わせた展覧会案内ができ、より効率よくPRをすることができた。 HPへの公開により、来館できない人へも情報を届けることができた。	B リニューアルした効果はあったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、紙媒体の配付はむずかしかった。

エ 文化財団友の会会員等への情報発信

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
友の会事業 【かすがい市民文化財団】	自主事業のチケット先行発売・割引購入が可能な有料会員制度	友の会会員(有料) 828人(新規入会116人、更新712人) Web会員(無料) 5,464人(前年度比1,171人増) 合計6,292人(前年度比827人増) 隔月で文化財団広報誌「FORUM PRESS」や自主文化事業等のチラシ類を送付 メールアドレス登録者にはチケット販売情報をメール配信	友の会会員(有料) 548人(新規入会99人、更新449人) Web会員(無料) 5,761人(前年度比297人増) 合計6,309人(前年度比17人増) 文化財団広報誌「FORUM PRESS」や自主文化事業等のチラシ類を送付 メールアドレス登録者にはチケット販売情報をメール配信	文化芸術に関心の高い会員に最新の情報を提供することができた。 友の会会員の大幅な減少は、「松竹大歌舞伎」中止に起因していると考えている。 Web会員はチケット先行予約や座席を指定しての予約も可能なため、比較的若い世代を中心に増やすことができた。	B 有料会員に対しては、丁寧な情報提供を行っていく必要があると考えている。

オ JR各駅や地元商店街等でのポスター掲示、チラシ配布等

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
JR各駅での広報配布 【広報広聴課】	JRの各駅で広報春日井を配布するとともに、JR高蔵寺駅内のアスティ高蔵寺市民コーナーでポスター配布、チラシ配架	広報春日井各号の配布部数 JR勝川駅 30部 JR春日井駅 40部 JR神領駅 130部 JR高蔵寺駅 130部	広報春日井各号の配布部数 JR勝川駅 20部 JR春日井駅 30部 JR神領駅 130部 JR高蔵寺駅 55部	町内会未加入世帯等で広報春日井の入手が難しい市民に対し、広報を入手する機会を提供することができた。	B

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
JR春日井駅自由通路 展示コーナー 【かすがい市民文化財団】	自由通路にある展示コーナーで、特製の巨大ポスターを掲示し、文化財団の自主事業等をPR	イベントカレンダー 2か月ごとに更新 「松竹大歌舞伎」や「浅田政志写真展」等をPRする巨大ポスターを作成・掲示	イベントカレンダー 2か月ごとに更新 文化財団の自主事業以外にも、「短詩型文学祭」の特別賞受賞作品を巨大ポスターにして掲示するなどした。	市の玄関口であるJR春日井駅にて文化情報を発信することができた。 巨大ポスターは2～3枚を連結させるデザインのものを作成し、PR効果の向上を図った。	B

(2) 新しい情報媒体の開拓・活用

ア インターネットを活用した双方向コミュニケーションの促進

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市政情報サービス 【広報広聴課】	市民に必要な情報を迅速に提供するため、市ホームページ・モバイルサイト、SNSを活用して情報を提供	・市公式LINEお友達登録件数 5,177件(前年度比1,182件増) ・市公式Twitterフォロワー数 2,083(前年度比387増)	・市公式LINEお友達登録件数 7,225件(前年度比2,048件増) ・市公式Twitterフォロワー数 2,962(前年度比879増)	インターネットを活用し、様々な手法で情報発信することができた。	B

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団情報発信事業 【かすがい市民文化財団】	文化財団の実施事業や、文化フォーラム春日井・市民会館の情報提供	・文化財団公式Twitterで、最新の情報を発信 ・文化財団公式Twitterフォロワー数1,060(前年度比104件増) ・公演に出演のアーティスト等との相互交流を実施	・文化財団公式LINEを開設し、Twitterとともに、最新の情報を発信 ・文化財団公式LINEお友達登録件数 424件 ・文化財団公式Twitterフォロワー数1,152(前年度比92件増) ・公演に出演のアーティスト等との相互交流を実施	インターネットを活用し、様々な手法で情報発信することができた。	B

イ 民間情報誌等を活用した文化イベント情報の発信

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団広告宣伝事業 【かすがい市民文化財団】	文化財団の活動に“認知・理解・支援”を得るため、新聞・テレビ等への露出を図り、文化財団のPRを実施	記事掲載：中日新聞52回、朝日新聞6回、中日スポーツ1回、毎日新聞1回、読売新聞1回、ラジオ3回、ケーブルテレビ2回、雑誌タウン誌50回、Webメディア3回 広告掲載：中日新聞3回、フリーペーパー1回 チラシ折込：ポトス(市内)1回	記事掲載：中日新聞42回、朝日新聞6回、西日本新聞1回、テレビ1回、ラジオ4回、ネットテレビ1回、ケーブルテレビ11回、雑誌タウン誌34回、Webメディア3回 広告掲載：なし チラシ折込：なし	親子のためのファミリーシアター!「にんぎょひめ」では、出演者や記者の協力を得てリモートで新聞取材を行うなど、新型コロナウイルス感染症の影響下でも工夫し、文化財団の事業について、新聞やラジオで告知を行い、集客につなげることができた。	B

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	道風記念館の施設及び事業をPRするため、情報を発信	記事掲載：中日新聞8回、朝日新聞10回、読売新聞2回、茶華道新聞6回、テレビ愛知1回、ケーブルテレビ2回、雑誌19回 広告掲載：雑誌3回、読売新聞1回	記事掲載：中日新聞16回、朝日新聞7回、茶華道新聞6回、東海テレビ1回、ケーブルテレビ1回、雑誌15回 広告掲載：雑誌2回、読売新聞1回	道風記念館について、新聞や雑誌等で告知を行い、道風記念館を幅広くPRすることができた。	B

ウ 近隣自治体、民間文化施設等との連携による情報発信の推進

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団情報発信事業 【かすがい市民文化財団】	文化財団の実施事業や、文化フォーラム春日井・市民会館の情報を提供	文化財団広報誌「FORUM PRESS」を始めとする広報物を県内331施設、県外50施設に配布 美術系事業の広報物は、公共施設だけでなく民間のギャラリーにも配布(相互に依頼) 名古屋市文化振興事業団と連携し、相互に友の会会員への発送物に、双方の事業のチラシを同封 近隣ホールで開催の類似ジャンルの公演にて、自主文化事業の広報物を折り込み(相互に依頼)	文化財団広報誌「FORUM PRESS」を始めとする広報物を県内331施設、県外50施設に配布 美術系事業の広報物は、公共施設だけでなく民間のギャラリーにも配布(相互に依頼) 名古屋市文化振興事業団と連携し、相互に友の会会員への発送物に、双方の事業のチラシを同封	近隣の文化施設と連携することで、幅広い情報を、来館者・友の会会員・公演の鑑賞者に提供することができた。 緊急事態宣言発令による県内外の施設の休館や、様々な公演の中止などもあって、紙媒体の配布については困難な部分も多かった。	B

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	道風記念館の施設及び事業について、PRを実施	展覧会チラシ・ポスターを始めとする広報物を 県内141施設、県外403施設に配布 かすがい市民文化財団が市民会館等で開催する公演の際に、展示作品を紹介する広報物を折り込み	展覧会チラシ・ポスターを始めとする広報物を 県内141施設、県外641施設に配布 かすがい市民文化財団が市民会館等で開催する公演の際に、展示作品を紹介する広報物を折り込み	近隣の文化施設と連携することで、幅広い情報を、来館者・友の会会員・公演の鑑賞者に提供することができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値		
	2016年度	2021年度	2018年度	2018年度	2019年度	2020年度
市が情報発信の充実に力を入れていくべきと考える人の割合	43.0%	35.0%	25.0%	2021年度に測定	2021年度に測定	2021年度に測定

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
<p>A 計画以上の成果が得られた</p> <p>B 概ね計画どおりの成果が得られた</p> <p>C 成果が得られた事業が多かった</p> <p>D 成果が得られた事業は少なかった</p> <p>E 成果は得られなかった</p>	<p>文化財団広報誌のFORUM PRESSは、100号記念号及びリニューアル後についても、事業の宣伝に留まらず、読み手に興味を抱かせるような読み物として楽しめるものとなっており、評価できる。</p> <p>インターネットやSNSを活用したPRについては、社会情勢の変化に応じたものとなるよう、また、知りたい人に届けるためにはどのような手法が有効なのか、引き続き検討していく必要がある。</p> <p>その他、市や文化財団以外の文化活動団体等が実施する事業の情報発信については、生涯学習情報サイト「まなびや選科」があるものの、十分に活用されていないため、地域の文化情報を発信する手法を検討する必要がある。</p>

施策④ 市民による文化活動支援の推進

施策ごとの事業の成果

(1) ボランティア活動の活性化

ア 継続的な文化ボランティア活動の推進、支援

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア(市民メセナ活動支援) 【文化・生涯学習課】	市民メセナ活動の一環として文化ボランティアを募集し、活動を支援	文化ボランティア登録者:21名(新規登録者2名、退会者なし、前年比2名増) ボランティアへの活動要請:8回、延べ43人従事 顔合わせ会(総会)1回、定例会8回、教養講座1回、自主企画「かすがい短歌」作品募集(表彰式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)、文化探訪(志段味古墳ミュージアム) 文化ボランティア新規会員募集をPR、2名が加入	文化ボランティア登録者:21名(新規登録者3名、退会者3名、増減なし) ボランティアへの活動要請:1回、延べ3人従事 顔合わせ会(総会)実施せず、定例会3回、教養講座・自主企画・文化探訪は実施せず 文化ボランティア新規会員募集をPR、3名が加入	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自主的な活動は自粛した。 また、市民の文化活動の中止も相次いだため、ボランティア活動もほとんど実施できなかった。 高齢を理由とした退会者もあったが、PRにより新たな会員を迎えることができた。	B ボランティア会員は高齢化しているが、新規会員を継続的に迎えることができた。

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財団サポーター 【かすがい市民文化財団】	来場者をもてなすボランティアとして、文化財団自主事業に参加（フロントスタッフ）公演を鑑賞し、観客目線での公演レポートを執筆し、公開（FORUM PRESSレポーター）	・フロントスタッフ38人 （前年比2名減、新規登録者1名、退会者3名） 活動公演数29回、活動展覧会数2回、研修等2回 ・FORUM PRESSレポーター12人 （前年比5名減、新規登録者なし、退会者5名） 活動公演数22回、研修等2回 紙面掲載記事12本、ホームページ掲載記事22本	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 ・フロントスタッフ37人 ・FORUM PRESSレポーター12人	—	—

イ 市民が企画、運営する文化事業の支援

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア（市民メセナ活動支援） 【文化・生涯学習課】 《再掲》	市民メセナ活動の一環として文化ボランティアを募集し、活動を支援	文化ボランティア登録者：21名（新規登録者2名、退会者なし、前年比2名増） ボランティアへの活動要請：8回、延べ43人従事	文化ボランティア登録者：21名（新規登録者3名、退会者3名、増減なし） ボランティアへの活動要請：1回、延べ3人	実際に活動できたのは1日のみではあったが、市民の文化事業を支援することができた。	B

ウ 文化ボランティアによる自主企画イベントの開催

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア(市民メセナ活動支援) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	市民メセナ活動の一環として文化ボランティアを募集し、活動を支援	文化ボランティア登録者:21名(新規登録者2名、退会者なし、前年比2名増) 顔合わせ会(総会)1回、定例会8回、教養講座1回、自主企画「かすがい短歌」作品募集(表彰式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)、文化探訪(志段味古墳ミュージアム)	文化ボランティア登録者:21名(新規登録者3名、退会者3名、増減なし) ボランティアへの活動要請:1回、延べ3人従事 顔合わせ会(総会)実施せず、定例会3回、教養講座・自主企画・文化探訪は実施せず。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自主的な活動は自粛した。	— 例年どおりの活動を行う方向で検討していたが、新型コロナウイルス感染症が沈静化しないため、計画を遂行することができなかった。

(2) 市民メセナ基金の活用

ア 市民メセナ基金を活用する事業を通じた情報発信、認知度向上

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化ボランティア(市民メセナ活動支援) 【文化・生涯学習課】	市民メセナ活動の一環として文化ボランティアを募集し、活動を支援	文化ボランティア登録者:21名(新規登録者2名、退会者なし、前年比2名増) ボランティアへの活動要請 8回、延べ43人従事	文化ボランティア登録者:21名(新規登録者3名、退会者3名、増減なし) ボランティアへの活動要請:1回、延べ3人従事	ボランティア活動時に、主催者と来場者に市民メセナについてPRし、基金への寄附を募ることで認知度の向上を図ることができた。 1事業で6,583円の寄附があった。	B ボランティアが活動した1事業の出演者・鑑賞者から寄附があったことは、成果と考えている。
あ〜とふるマイタウン(芸術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	芸術家等を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※令和2年度より伝統芸能分野も文化財団に移管し、「かすがいどこでもアート・ドア」事業で実施。	実施プログラム5、実施回数12回(前年度比9回減)	なし (わ〜く書っぶ(書家派遣事業)に移行したため)	—	—

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがいどこでもアート・ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽・伝統芸能分野について、段階的に市より移管した。	派遣アーティスト7組19名、実施回数15回(前年度比3回増)	派遣アーティスト12組35名、実施回数11回(前年度比4回減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12回中止。	事業実施時に、参加者に市民メセナについてPRし、基金への寄附を募ることで認知度の向上を図ることができた。 6事業で43,667円の寄附があった。	A 6事業の鑑賞者から寄附があったことは、大きな成果と考えている。

イ 市民メセナ基金の運用方法の検討

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民メセナ基金積立 【文化・生涯学習課】	市民や企業等からの寄附金の受け皿となるとともに、マッチングギフト方式を採り入れ、市が寄附と同額を積み立て	文化ボランティア活動、かすがいどこでもアート・ドア等に拠出。 ○寄附2,131,152円 ○マッチングギフト(市負担)231,152円 ○利子817円 前年度末基金現在高 7,649,283円 今年度積立額 2,363,121円 今年度取崩額 612,966円	・かすがいどこでもアート・ドアに拠出。 ○寄附50,250円 ○マッチングギフト(市負担)50,250円 ○利子767円 前年度末基金現在高 9,399,438円 今年度積立額 101,267円 今年度取崩額 450,000円	積極的なPRの結果、市民メセナ基金を拠出している2事業への参加者から合計50,250円の寄附があった。	B 積極的なPRの結果、市民から寄附を得ることができたことは、成果と考えている。

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値		
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度
文化ボランティアの登録者数	23人	25人	28人	19人	21人	21人

< 参考 >	基準値	実績値		
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度
文化財団サポーター（フロントスタッフ及びFORUM PRESSレポーター）の登録者数	53人	57人	50人	49人

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
<p>A 計画以上の成果が得られた</p> <p>B 概ね計画どおりの成果が得られた</p> <p>C 成果が得られた事業が多かった</p> <p>D 成果が得られた事業は少なかった</p> <p>E 成果は得られなかった</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で、ボランティア活動を継続することは大変難しい状況であった。そうした中でも、文化ボランティアについて、新規登録者がある点は評価できる。</p> <p>感染症が治まった後、どのようにボランティア活動を再開していくのか、予め検討しておき、今後市民の文化活動を支える取り組みが広がることが望まれる。</p> <p>市民メセナ基金活用事業において、寄附を募るためのPRが強化され、事業の参加者から寄附があった点は評価できる。</p> <p>今後も、市民メセナ基金について、永続的な運用ができるよう、理解を広める活動の継続が重要である。</p>

施策⑤ 文化が育つ拠点施設の充実

施策ごとの事業の成果

(1) 文化活動の魅力を引き出す施設運営

ア より幅広い利用形態に対応する文化施設運営

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井、 市民会館貸館 【かすがい市民文化財 団】	文化フォーラム春日井 諸室及び市民会館施 設の貸出	・文化フォーラム春日井: 1,554件、113,197人(前年 度比4件減、11,876人減) (内訳:ギャラリー39件 4,113 人、視聴覚ホール265件 26,727人、会議室327件 8,609人、文化活動室258件 5,711人、和室135件1,177 人、交流アトリウム530件 20,692人、その他16,168人) ・市民会館:181件99,669人 (前年度比48件増、13,010 人増)	・文化フォーラム春日井:774 件、37,209人(前年度比780 件減、75,988人減) (内訳:ギャラリー22件 15,207人、視聴覚ホール68件 5,064人、会議室225件3,953 人、文化活動室182件2,533 人、和室14件56人、交流アトリ ウム263件5,992人、その他 4,404人) ・市民会館:101件21,036人 (前年度比80件減、78,633 人増)	両施設とも、利用者アン ケートでの利用満足度は 高く、市民にとって使いや すい施設を提供すること ができた。 ※新型コロナウイルス感 染症拡大防止のため、貸 館を休止した期間があ り、また利用を自粛する事 例も多かったため、利用 者は激減した。	B 新型コロナウイルス 感染症について、利 用者の安心・安全を 図るため必要な対 策を取っていく必要 がある。

イ 施設利用者の意見に基づく運営方法の改善

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井、 市民会館貸館 【かすがい市民文化財 団】 《再掲》	文化フォーラム春日井 諸室及び市民会館施 設の貸出	顧客満足度調査(大変満足を +3、大変不満-3と数値化して 平均値を算出) ・文化フォーラム春日井・視聴 覚ホール2.18、ギャラリー 2.14 ・市民会館 2.49 利用者アンケートの裏面に、 施設利用サービスの改善点を 掲載 ①VR市民会館の導入、②市 民会館ロビーに大型モニター 設置、③ギャラリーの使いや すさ向上(ワイヤー収納棚設 置、西日対策用ロールカーテ ンの設置など)	顧客満足度調査(大変満足を +3、大変不満-3と数値化して 平均値を算出) ・文化フォーラム春日井・視聴 覚ホール2.50、ギャラリー 2.37 ・市民会館 2.43 利用者アンケートの裏面に、施 設利用サービスの改善点を掲 載 ①視聴覚ホールとギャラリーの リニューアル、②視聴覚ホール とギャラリー利用者向けの LANサービス開始、③市民会 館にプロジェクター導入(有 料)、④デジタルサイネージの 導入ほか	両施設とも、利用者アン ケートでの利用満足度は 高く、市民にとって使いや すい施設を提供すること ができた。 改善点を明示すること で、利用者の理解を深め ることができた。	B

(2) 文化施設の整備

ア 東部市民センター施設の活用

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
東部市民センター貸館 【東部市民センター】	ホールや公民館、集会室施設の貸出	東部市民センター2,920件、73,238人 内訳：集会室1,149件23,858人(前年度比489件増、6,571人増)、公民館1,611件21,074人(前年度比151件増、1,326人増)、ホール160件28,306人(前年度比28件減、6,854人減)	東部市民センター2,226件、36,449人 内訳：集会室1,094件16,341人(前年度比55件減、7,517人減)、公民館1,041件11,455人(前年度比570件減、9,619人減)、ホール91件8,653人(前年度比69件減、19,653人減)	新型コロナウイルス感染症の影響下で、施設の貸館を休止する期間もあったが、地域住民の日常生活に寄り添った、東部地区の拠点の生涯学習施設として、地域住民に活動の場を提供することができた。	B

イ 安全、快適に利用できる文化施設の整備、管理

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井、 市民会館貸館 【かすがい市民文化財 団】 《再掲》	文化フォーラム春日井 及び市民会館の改 修・修繕等を実施	・文化フォーラム春日井:非常 用発電機部品取替修繕、中央 監視装置更新工事ほか ・市民会館:動力分電盤改修工 事ほか	・文化フォーラム春日井:視聴 覚ホールのイス改修工事、視 聴覚ホール及び交流アトリウム の舞台機構、舞台照明の改修 工事。館内照明のLED化。排煙 窓開閉装置取替修繕、非常照 明等直流電源装置取替修繕ほ か ・市民会館:受変電装置部品更 新工事、給水管修繕ほか	経年劣化に対応するた め、修繕・改修工事を実 施し、施設利用者の安全 性・快適性を高めること ができた。 公共施設個別施設計画 に基づき、計画的な整備・ 管理を行うための基盤を 整備することができた。	B
道風記念館 【道風記念館】	道風記念館の修繕等 を実施	・屋上防水工事 ・耐震診断を実施	・外壁改修工事 ・内部壁紙貼替修繕 ・館内照明のLED化 ・消防用設備取替修繕 ・放送設備取替修繕	経年劣化に対応するた め、修繕・改修工事を実 施し、施設利用者の安全 性・快適性を高めること ができた。 公共施設個別施設計画 に基づき、計画的な整備・ 管理を行うための基盤を 整備することができた。	B

ウ 文化財関連施設等の保守、管理

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財の保護・調査 【文化財課】	史跡等文化財の地元 保存団体等への清掃 業務委託 文化財説明看板の保 守・管理	・二子山古墳始め史跡等清掃 業務委託 9団体 ・文化財説明看板設置・修繕 3件	・二子山古墳始め史跡等清掃 業務委託 9団体 ・文化財説明看板設置・修繕 3件	地元保存団体や民間業 者に清掃等を委託して史 跡等文化財の適切な管 理・保管状況を維持する ことができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値		
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度
市の文化施設が充実していると考える人の割合	28.8%	30.0%	35.0%	2021年度に 測定	2021年度に 測定	2021年度に 測定

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた	文化フォーラム春日井、市民会館とも、利用者アンケートからみると利用満足度は高く、評価できる。
B 概ね計画どおりの成果が得られた	新型コロナウイルス感染症の影響下で、安心・安全に施設を利用していただくため、物理的な環境を整
C 成果が得られた事業が多かった	え、利用者への啓発を継続していく必要がある。
D 成果が得られた事業は少なかった	文化財は、概ね適切な管理・保管状況が保たれており、評価できる。引き続き継続的な取り組みが必要
E 成果は得られなかった	である。

基本目標2 特色ある「春日井文化」の継承・創造

施策⑥ 特色ある文化の推進

施策ごとの事業の成果

(1) 「書のまち春日井」の推進

ア 書の魅力を紹介する文化事業の充実

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展) 【文化・生涯学習課(運営委員会に事業委託<事務局:かすがい市民文化財団>) 《再掲》	書作品を全国から公募し、春日井市で生まれたと伝えられる小野道風の偉業を顕彰するとともに、展覧会を開催	第71回展10月27日(日)～11月4日(月・休) 出品数:一般部289点、学生部(高校生以下)5,630点、計5,919点(前年度比402点減)、鑑賞者:4,195人(前年度比882人減)、新たにインターネット上でVR展を実施:1,037アクセス 会場:名古屋展(愛知県美術館ギャラリー)を廃止、春日井駅(学生半紙の部特別賞受賞作品)<新規> 出品資格・出品料:変更なし	第72回展10月25日(日)～11月3日(火・休) 出品数:一般部336点、学生部(高校生以下)5,735点、計6,071点(前年度比152点増)、鑑賞者:5,908人(前年度比1,713人増)、VR展1,862アクセス(前年度比825アクセス増) 会場:文化フォーラム春日井・交流アトリウムを追加、春日井駅(学生半紙の部特別賞受賞作品)<継続> 出品資格・出品料:変更なし	書に力を入れている全国の高校に出品を依頼するなど「書のまち春日井」を全国発信するとともに、高いレベルの作品が数多く寄せられ、書道文化の振興を図ることができた。前年度から実施しているVR展により、外出自粛する鑑賞者に鑑賞機会を提供することができた。春日井駅での展示も大変好評であった。	B 出品数が減少傾向にあるため、新規出品者を呼込む方策を引き続き検討し、実施していく必要と考えている。

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	小野道風の偉業を顕彰し後世に伝えるとともに、書専門の美術館として、様々な展覧会を開催	年間観覧者数7,467人(前年比1,185人減) 特別展「川谷尚亭の書」729人(前年度比240人増) 企画展「黒野清宇の書」1,167人(前年度比216人減) 企画展「おののとうふう～小野一族のひみつ～」1,045人(前年度比429人減) 館蔵品展 「近現代の書」985人 「書の魅力」3,044人 「読んで味わう書の世界」324人 年間観覧者数7,467人(前年比1,185人減)	年間観覧者数4,959人(前年比2,508人減) 特別展「王朝文学と古筆切」503人(前年度比226人減) 企画展「龍門造像記」1,412人(前年度比245人増) 企画展「おののとうふう～和様の書のうつりかわり～」700人(前年度比345人減) 館蔵品展 「つづけ書きの妙」273人 「書の魅力」2,029人 年間観覧者数4,959人(前年比2,508人減) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館あり。また、当初の会期や内容を一部変更して展覧会を開催した。	書を専門とし、毎回異なったテーマを設け、全ての展示を自主企画し、専門家から高評価を得る質の高い展覧会を開催することができた。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展示品解説動画を配信し、外出を自粛する鑑賞者や実施できなくなった講演会の代替機会を提供することができた。	B 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時休館することになったため、急きよ作品所蔵者等と調整し、年間計画を一部変更することで、鑑賞機会の提供に努めた。

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風の書臨書作品展 【道風記念館】 《再掲》	三跡(小野道風、藤原佐理、藤原行成)の書を課題とし、臨書作品を全国から公募 開館以来継続して展覧会を開催	第38回展 1月10日(金)～19日(日) 出品数 一般部/屏風土代255点、伊予切282点 高校生の部 屏風土代2,766点、本阿弥切245点 合計3,548点(前年比106点減) 鑑賞者:348人(前年比8人減) 会場:変更なし 出品資格・出品料:変更なし	第39回展1月9日(土)～17日(日) 出品数:一般部/白氏詩巻257点、継色紙294点 高校生の部/玉泉帖2,588点、小島切119点、合計3,258点(前年比290点減) 鑑賞者:588人(前年比240人増) 会場:変更なし 出品資格・出品料:変更なし	小野道風を始めとした三跡の和様の書を学び、鑑賞する機会を提供することで、小野道風の顕彰を行うことができた。 全国各地から応募があり、広く「書のまち春日井」を発信することができた。	B
県下児童生徒席上揮毫大会 【小野道風公遺徳顕彰会(事務局:小野小学校)】	昭和11年(1936)に始まった揮毫大会 用紙が2枚だけ配布され、制限時間25分間で行われる 「用意、ドン」と始まるため「小野の競書会」とも呼ばれている	第84回大会 10月26日(土)、会場 小野小学校 参加者 782人、91校(前年度比1人減、1校増) 参加資格:各校1学年2人まで 表彰式・作品展 11月30日(土)、小野小学校体育館 優秀作品展 12月20日(水)～1月5日(日)、道風記念館 運営は前年度と同じ	第85回大会 参加者 402人、88校(前年度比1人減、3校減) 参加資格:各校1学年1人まで 優秀作品展 12月18日(金)～1月5日(火)、道風記念館 運営は前年度と同じ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、席上揮毫は取りやめ、郵送で作品を受付。 その他、作品展と表彰式は実施しないこととした。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、始めて席上揮毫形式ではなく、郵送で作品受付して実施した。 春日井市内だけではなく、愛知県内の多くの学校から出品があり、小中学生に作品を制作する機会を提供するとともに、小野道風の顕彰を行うことができた。	B

イ 書を通じた自治体間交流の推進

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館展示 【道風記念館】 《再掲》	小野道風の偉業を顕彰し後世に伝えるとともに、書専門の美術館として、様々な展覧会を開催	特別展「川谷尚亭」では、高知県安芸市在住の所蔵者等に協力を仰ぎ、展覧会の企画を立案した。	自治体間交流にあたる展覧会の開催はなかった。	新型コロナウイルス感染症の影響下では、自治体の交流は困難である。	D

ウ 春日井まつり等の市民交流事業での書の魅力の発信

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井まつり 【市民活動推進課】	市庁舎周辺で、小野道風に因んだ書道パフォーマンスなど春日井の特色ある催しを実施	参加者11,000人(600団体)、観覧者200,900人 ・「Kasugai ザ 道風」(書道パフォーマンス) ・「道風平安朝行列」(小野道風を中心とした雅な雰囲気の流れ)などが参加するパレード ・道風くんコーナー(水書道体験コーナー、道風くんグッズ販売)	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	—	—

エ パンフレット等による「書のまち春日井」の発信

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
「書のまち春日井」発信 【文化・生涯学習課】	「書のまち春日井」PR パンフレットを作成・配布	「書のまち春日井」PRパンフレット(子ども向け)作成 ①中学年向け「書のまち春日井と小野道風」:A4、8ページ ②高学年向け「調べてみよう!小野道風」:A4、16ページ 小学校教員に協力を仰ぎ、小学校の書道科授業で活用できる内容とした	「書のまち春日井」PRパンフレット(①一般向け、②小学校中学年向け「書のまち春日井と小野道風」、③小学校高学年向け「調べてみよう!小野道風」)を増刷・配布	「書のまち春日井」や「小野道風」について分かりやすくまとめたパンフレットを作成し、小学校の書道科の授業向けに継続して配布することで、「書のまち春日井」や「小野道風」への理解を広げることができた。	B

オ マスコットキャラクターの活用

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
「書のまち春日井」発信 【文化・生涯学習課】 《再掲》	商標、着ぐるみの貸し出し、グッズの制作・販売等を実施 「ゆるキャラグランプリ」にエントリーし、市内外にPR	<ul style="list-style-type: none"> ・Jリーグ公式戦に合わせて開催された自治体PRイベントに出演 ・VR道風展に出演 ・商標の貸出(印刷物等への道風くんイラスト使用許可) 39件 ・着ぐるみ貸出(町内会等や一般企業へ無料貸出) 81件 ・道風くんグッズ販売 道風記念館や市役所等公共施設、春日井市観光コンベンション協会(JR春日井駅Lirick)、市内書店、勝川駅前商店街 ・春日井まつりや市民納涼まつりで市内保育園園児と道風くんが「道風くんのテーマソング」ダンス披露 	<ul style="list-style-type: none"> ・VR道風展に出演 ・商標の貸出(印刷物等への道風くんイラスト使用許可) 50件 ・着ぐるみ貸出(町内会等や一般企業へ無料貸出) 19件 ・道風くんグッズ販売 道風くんエコバッグを新たに作成し、道風記念館や市役所等公共施設、春日井市観光コンベンション協会(JR春日井駅Lirick)、市内書店、勝川駅前商店街内商店等で販売 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春日井まつりや市民納涼まつりなどへの参加は取り止めた。 	マスコットキャラクター「道風くん」を活用することで、「書のまち春日井」について分かりやすく幅広い世代にPRすることができた。	B

カ 書を気軽に楽しむ講座、講演会等の開催

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
道風記念館講座 【道風記念館】 《再掲》	書の鑑賞の手助けとなり、書への関心と深める講座を開催 特別展等にあわせて講演会やギャラリートークを開催	臨書講座「篆書・隸書の臨書」(全6回) 受講者57人 特別展「川谷尚亭」 講演会 1回、ギャラリートーク 1回、初心者向け展示品解説 1回 企画展「黒野清字の書」ギャラリートーク 1回 館蔵品展「近現代の書」学芸員による展示品解説 4回 館蔵品展「書の魅力」学芸員による展示品解説 4回 館蔵品展「読んで味わう書の世界」学芸員による展示品解説 2回(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止)	臨書講座「三色紙を書く」(全4回) 44人(前年度比13人減) 特別展「王朝文学と古筆切」解説講座(全4回) 41人 企画展「龍門造像記」に合わせた講演会に代わり、展示品解説動画を配信。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展覧会に合わせた講演会や学芸員による展示品解説等、及び初心者向けの臨書講座は実施しなかった。	書への関心を深める機会を提供することができた。	B

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
公民館・ふれあいセンター講座 【各公民館、各ふれあいセンター】	公民館、ふれあいセンターで講座を開催	中央公民館 1講座(全8回) 受講者20人、1講座(全4回) 受講者16人 知多公民館 1講座(全8回) 受講者14人、1講座(全3回) 受講者19人 坂下公民館 1講座(全2回) 受講者14人 東部公民館 1講座(全6回) 受講者20人 南部ふれあいセンター 1講座(全8回) 受講者30人	中央公民館 1講座(全8回) 受講者19人、1講座(全4回) 受講者13人 鷹来公民館 1講座(全2回) 受講者15人 東部公民館 1講座(全8回) 受講者9人 味美ふれあいセンター 1講座(全2回) 受講者4人 南部ふれあいセンター 1講座(全8回) 受講者7人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4講座(全8回、全5回、全4回、全2回)中止。	地域に身近な施設で書への関心を深める機会を提供することができた。	B

(2) 自分史のまちづくりの推進

ア 自分史の魅力を紹介する文化事業の充実

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自分史事業 【かすがい市民文化財 団】	「日本自分史センター」を拠点に、自分史相談、自分史講座、公募自分史事業などを実施	「演劇×自分史プロジェクト」 (平成29年度～令和2年度) 市民向けワークショップ 21回 25名・延べ554人参加 ※ワークショップ成果披露公演 (有料)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 ・自分史相談 毎週火・金曜日 午後、相談無料 ・自分史講座 エッセイ講座 (全10回) 受講者19人	・「演劇×自分史プロジェクト」 (平成29年度～令和2年度) 第3弾公演を公文協シアター アーカイブス事業を活用し、動画 をインターネット公開 ・自分史PRイベント 古関裕而 コンサートに合わせ、自分史サ ークルに協力を依頼し、演奏曲 目にまつわる自分史作品集を 制作し、来場者に配付 ・自分史相談 毎週火曜日午後、 相談無料(一部休止)	自分史と演劇のコラボレ ーションにより、これまで 自分史を知らなかった層 にもPRする機会を創出す ることができた。 コンサートで、自分史サ ークルメンバーが書いた 自分史作品集を配布する ことで、幅広い市民に自 分史をPRし、団体の活動 を知ってもらう機会を提 供することができた。	B 幅広い層に自分史を PRすることができた のは、成果と考えてい る。

イ 自分史の活動を行う団体等の支援

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化フォーラム春日井、 市民会館管理 【文化・生涯学習課】 《再掲》	定期的に活動してい る自分史サークルに 対し、活動認定を行 い、施設使用料を減 免	自分史サークル7団体を自分 史活動団体として認定(受付 期間前の施設予約、施設の減 免利用、印刷機等の無償利用 を認めている。)	自分史サークル6団体を自分 史活動団体として認定(受付 期間前の施設予約、施設の減 免利用、印刷機等の無償利用 を認めている。)	自分史サークルが継続的 に活動できるよう、施設 利用の面で活動を支援 することができた。	B

ウ 全国からの自分史作品の収集、公募

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自分史事業 【かすがい市民文化財 団】 《再掲》	「日本自分史センター」を拠点に、自分史相談、自分史講座、公募自分史事業などを実施	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史センターへの作品寄贈 71タイトル ・蔵書8,191タイトル 書籍の貸出 80冊 ・蔵書を整理し、文化情報プラザの書架を充実させた ・第17回掌編自分史全国公募「恋した わたし」では、演劇×自分史との事業連携させた。応募作品 210作品(前年度比56作品増)、優秀作品を掲載した作品集を刊行 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史センターへの作品寄贈 107タイトル ・蔵書8,298タイトル 書籍の貸出 49冊 ・蔵書を整理し、文化情報プラザの書架を充実させた ・第18回掌編自分史全国公募「おくりもの」では、新型コロナウイルス感染症の影響下、自由に人と会えない中「相手」を想う自分史を公募した。応募作品 202作品(前年度比8作品減)、優秀作品を掲載した作品集を刊行 	自治体設置の自分史専門図書館としては、全国唯一の施設として、自分史作品の収集を進めることができた。 また、研究目的での利用も増えており、卒業論文・修士論文のための問い合わせも多く、自分史サークルを紹介するなど、自分史の普及に取り組んだ。 その他、自分史作品を公募し、作品集を刊行。より多くの応募を目指して、テーマを設定。公募に関する雑誌やインターネット上でのPRに努めた結果、前年度に近い応募作品数となった。	A 掌編自分史全国公募は、テーマ設定や規定の工夫により、9年ぶりに応募作品数が200点を超えた。中高生からの応募もあり、大きな成果があったと考えている。

エ インターネット等を活用した日本自分史センターの事業展開

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自分史事業 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	「日本自分史センター」を拠点に、自分史相談、自分史講座、公募自分史事業などを実施	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史センターへの寄贈された作品リストを文化財団ホームページに掲載 ・第17回掌編自分史全国公募「恋した わたし」応募作品210作品、優秀作品35点を掲載した作品集を刊行。メール応募を積極的にPRし、応募規定を変更するなど、より多くの方に気軽に応募してもらうよう工夫した結果、中高生など若い世代からの応募が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史センターへの寄贈された作品リストを文化財団ホームページに掲載 ・第18回掌編自分史全国公募「おくりもの」応募作品202作品、優秀作品37点を掲載した作品集を刊行。インターネット上でのPRを強化するとともに、前年度に引き続きメール応募を呼びかけるなど、より多くの方に気軽に応募してもらうよう工夫した結果、多くの作品が寄せられた。 	市民に限らず遠方の居住者にも日本自分史センターの自分史事業の情報を発信し、全国的に認知度の向上を図ることができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値		
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展)への応募作品数	6,458点	6,700点	7,100点	6,321点	5,919点	6,071点
自分史講座の受講者数	53人	60人	70人	36人	19人	0人(実施できず)

< 参考 >	基準値	実績値		
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度
小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展)の鑑賞者数 (うちVR展のアクセス数)	5,778人 (未実施)	5,017人 (未実施)	5,232人 (1,037アクセス)	7,775人 (1,867アクセス)
自分史事業(自分史センター利用、公募自分史出品、自分史講座、演劇×自分史プロジェクト)への参加者数	631人	1,326人	1,258人	430人

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた	書と自分史は春日井市が文化振興施策の柱としている取り組みであり、引き続きその魅力を広く発信していくことが望まれる。
B 概ね計画どおりの成果が得られた	書については、初心者や子ども達を対象とした取り組みが継続されており、評価できる。
C 成果が得られた事業が多かった	一方、道風記念館の年間観覧者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時休館したこともあり大きく減少した。令和3年度には開館40周年を迎えることもあり、新たな来館者を呼び込む方策を検討する必要がある。
D 成果が得られた事業は少なかった	また、「書のまち春日井」を広めていくためには、道風記念館を核とした事業展開を継続するとともに、市内の様々な施設でも書について学び体験する機会を提供し、市外から訪れた人々に「書」や「小野道風」について知ってもらう機会を創出するなど、幅広い展開が引き続きの課題である。
E 成果は得られなかった	

施策⑦ 文化財・伝統文化の保存・継承・活用

施策ごとの事業の成果

(1) 文化財の保護・活用

ア 歴史的文化財の調査研究の推進と保護、保存

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財の保護・調査 【文化財課】 《再掲》	指定文化財所有者等 に対する各種補助金 の交付、文化財の適 切な管理 遺跡の発掘調査、出 土遺物や民俗資料の 調査・整理	<ul style="list-style-type: none"> ・「内々神社社殿補修」「玉野山車附からくり(からくり人形衣裳復元)」補助など15件 ・文化財防火デーに合わせ、市内各所に保存・保管されている指定文化財の防火査察を実施(防火訓練は雨天により中止) ・桜佐上五反田遺跡・熊野西田面遺跡ほか発掘調査 ・熊野桜佐・西部第一・第二土地区画整理事業地内試掘調査 ・市内遺跡調査概要報告刊行 ・「神領第1号墳」発掘調査報告書刊行 ・民俗資料紙台帳のデジタル化 	<ul style="list-style-type: none"> ・「小木田棒の手(風切り購入)」補助など11件 ・文化財防火デーに合わせ実施する防火訓練及び指定文化財の防火巡視は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・熊野西田面遺跡・勝川遺跡ほか発掘調査 ・西部第一・第二土地区画整理事業地内試掘調査 ・市内遺跡調査概要報告書刊行 ・白山小学校に収蔵している民俗資料の再整理 	指定文化財所有者等と連携し、有効に補助金が交付され、文化財の適切な管理・保管状況を維持することができた。発掘調査や民俗・考古資料の整理を実施し、報告書等を刊行することで文化財の記録・保存を進めることができた。	B

イ 文化財を活用した伝統文化の発信事業の開催

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井まつり 【市民活動推進課】	市庁舎周辺で、小野道風に因んだ書道パフォーマンスなど春日井の特色ある催しを実施	<ul style="list-style-type: none"> ・パレードに「道風平安朝行列」、「棒の手」(出川町・小木田・神屋町・大留下棒の手保存会)、玉野郷土芸能保存会)、「神楽・流鏝馬装束行列」(伊多波刀神社道行神楽・伊多波刀神社奉納流鏝馬保存会)、神楽(六軒屋郷土芸能保存会)が参加 ・ステージで神楽(松本・両社宮・大留下・伊多波刀神社道行・坂下町・関田・気噴南神楽保存会、六軒屋郷土芸能保存会)が演技披露 ・市役所庁舎正面玄関入口付近で「棒の手」(小木田、出川町、大留下保存会、玉野郷土芸能保存会)が演舞披露 ・中央公園に「流鏝馬体験コーナー」(伊多波刀神社奉納流鏝馬保存会)設置 	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	—	—

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財の活用 【文化財課】	市民が文化財に親しむ機会として、内津文化財祭やハニワまつりなどの啓発イベントを開催	<ul style="list-style-type: none"> ・内津文化財祭 会場:内々神社 参加者800人(前年度比200人減) ・ハニワまつり 会場:ニ子山公園 参加者9,200人(前年度比200人増) ・「下街道ガイドマップ」改訂 ・「文化財ガイド」のデジタルパンフレット作成・インターネット配信 ・「春日井古墳散策マップ」作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・「下街道ガイドマップ」のデジタルパンフレット作成・インターネット配信 ・収蔵品展「ひなまつり」をVRによりインターネット上に公開 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内津文化財祭とハニワまつりは中止。 	デジタルパンフレットの配信や収蔵品展のVR公開など、デジタル技術を活用し文化財情報の発信をすることができた。	B

ウ 文化財、民俗資料等に関する展示の充実

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財の活用 【文化財課】 《再掲》	市民が文化財に親しむ機会として、企画展示等を実施し、展示内容に合わせた講座等を開催	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館内 民俗考古展示室 来場者5,543人(前年度比614人減) ※3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉館 ・「娯楽～昭和編～」 「狩りから稲作へ、の歴史」など企画展示を5回開催 ・古代史講座(全3回)、191人 ・親子体験教室 6回開催 参加者233人(前年度比44人増) ・南東山古墳出土遺物を再整理し、企画展示・パンフレット作成・特別講座(全3回、272人受講)実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館内 民俗考古展示室 来場者1,655人(前年度比3,888人減) ・「須恵器が、埴輪に、御旅所古墳」「ひなまつり」など企画展示を4回開催 ・古代史講座(全3回)、144人 ・親子体験教室 2回開催 参加者40人(前年度比193人減) ・御旅所古墳出土遺物を再整理し、企画展示・パンフレット作成・特別講座(全3回、152人受講)実施 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時公開休止し、企画展1回、親子体験教室4回中止。 	企画展示に合わせた親子体験教室や講座を開催することで展示に対する理解を深めることができた。	B

エ 文化財ボランティアの活動の推進

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
文化財ボランティアの育成 【文化財課】	貴重な文化財や歴史及び伝統文化を次世代に伝え、文化財保護を啓発する文化財ボランティアを育成	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 44人 ・ステップアップ研修 4回開催 受講者122人 ※第5回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・養成講座 全2回(4回連続講座) 計8人が受講し、6人が文化財ボランティアの会に加入 小学3年生の社会科校外学習対応として、民俗展示室等の説明、市民向けに内々神社等での文化財ガイドに従事 ・ボランティア協働事業 ワークショップ「勾玉をつくろう」「昔のくらし☆探検隊」に加え、「しめ縄をつくろう」を令和元年度より実施 ・ボランティア自主事業「文化財探訪ウォーキング」開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 40人 ・ステップアップ研修 1回開催 受講者18人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3回中止。 ・小学3年生の社会科校外学習対応として、民俗展示室等の説明、市民向けに内々神社等での文化財ガイドに従事 ・ボランティア協働事業「しめ縄をつくろう」実施 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、養成講座、ボランティア自主事業「文化財探訪ウォーキング」は中止。協働事業は1回中止、1回は協働を見合わせ職員のみで対応。 	<p>新型コロナウイルス感染症の影響下で予定通りの活動はできなかったが、ステップアップ研修により質の向上を図ることができた。</p> <p>協働事業として、「しめ縄をつくろう」を実施することができた。</p>	B

(2) 子どもたちが伝統文化に親しむ機会の提供

ア 子どもたちが伝統文化に触れ、関心を高める機会の提供

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
かすがい文化フェスティバル 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	茶華道や和楽器などの伝統文化や工作、書道などを体験できるワークショップを開催	・スペシャルデイ 7月28日(日) 352人 オープニングコンサート 体験講座:茶道、華道、三味線、琴、大正琴、和太鼓、日本舞踊、和装、書道など13講座(協力:文化協会・美術協会)	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スペシャルデイは中止。	—	—
児童館事業 【子育て子育て総合支援館】	自由に来館し親子で楽しく遊ぶ場所を提供するとともに、各種講座や教室を実施	・来館者66,491人(乳幼児30,318人、小中高生7,301人、大人28,872人) ・遊びつなごう伝承遊び(将棋教室)2回、参加者17人(小学生対象)	・来館者26,986人(乳幼児13,178人、小中高生1,440人、大人12,368人) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、遊びつなごう伝承遊び(将棋教室)は中止。	—	—

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
子育て支援、子育て支援事業 【交通児童遊園】	子ども同士や親同士の仲間作りのための出会いの場を提供するため、様々な事業を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業 将棋教室4回、小学生8人 キッズ大会・教室 陶芸教室、和太鼓体験教室 ほか13回、小学生延べ131人 ・子育て支援事業 わらべうたベビーマッサージ3回、和太鼓体験教室1回 参加者33人 (乳幼児22人、保護者11人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業 キッズ大会・教室 陶芸教室ほか9回、小学生延べ79人 ・子育て支援事業 子育て広場 作って遊ぼうでんでん太鼓1回 参加者14人(乳幼児8人、保護者6人)ほか ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、子育て支援事業のうち、将棋教室と和太鼓体験教室ほか9回及び、子育て支援事業のうち、わらべうたベビーマッサージほかは中止。	小学生や乳幼児とその保護者を対象に、将棋やわらべうたなど伝統的な遊びに触れる機会を提供することができた。	B
郷土芸能保存 【文化財課】	郷土芸能の保存団体と児童が交流できる環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能出前講座 坂下小学校3年生70人と小木田棒の手保存会始め4団体が参加 	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、郷土芸能出前講座は中止。	—	—

イ 子どもたちが行う伝統芸能等の発表の場の提供

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
春日井まつり 【市民活動推進課】 《再掲》	市庁舎周辺で、小野道風に因んだ書道パフォーマンスなど春日井の特色ある催しを実施	パレードに「道風平安朝行列」、「棒の手」(出川町・小木田・神屋町・大留下棒の手保存会)、玉野郷土芸能保存会、「神楽・流鏝馬装束行列」(伊多波刀神社道行神楽・伊多波刀神社奉納流鏝馬保存会)、神楽(六軒屋郷土芸能保存会)が参加 ・ステージで神楽(松本・両社宮・大留下・伊多波刀神社道行・坂下町・関田・気噴南神楽保存会、六軒屋郷土芸能保存会)が演技披露 ・市役所庁舎正面玄関入口付近で「棒の手」(小木田、出川町、大留下保存会、玉野郷土芸能保存会)が演舞披露 ・中央公園に「流鏝馬体験コーナー」(伊多波刀神社奉納流鏝馬保存会)設置	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	—	—

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値		
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度
民俗考古展示室の観覧者数	7,130人	7,500人	8,000人	6,157人	5,543人	1,655人

< 参考 >	基準値	実績値		
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度
講座等（親子体験教室、古代史講座、特別講座）への参加者数	672人	713人	696人	336人

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
<p>A 計画以上の成果が得られた</p> <p>B 概ね計画どおりの成果が得られた</p> <p>C 成果が得られた事業が多かった</p> <p>D 成果が得られた事業は少なかった</p> <p>E 成果は得られなかった</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、民俗芸能や伝統文化の保存・継承についての活動にも大きな支障があったと思われる。そういったなかで、若い世代を担い手として民俗芸能や伝統芸能を保存・継承していく取り組みがなされている点は、評価できる。</p> <p>文化財を適切に保存・管理し、後世に継承していくため、調査が継続的に行われていることは評価できる。今後も、調査の成果を広く市民に公開し、理解を広めるためにはどういった手法が適切か、検討していく必要がある。</p>

基本目標3 文化を通じた連携のまちづくり

施策⑧ 分野を超えた連携の推進

施策ごとの事業の成果

(1) 文化芸術と他の分野との連携

ア 地元大学と市、文化財団との連携の強化

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民第九演奏会 【文化・生涯学習課(実行委員会に事業委託<事務局:中部大学>)】 《再掲》	合唱及び演奏を行う市民に練習の場と発表の場を提供し、市民手作りの演奏会を開催	2019春日井市民第九演奏会 12月8日(日) 出演者308人(指揮者・ソリスト5人、交響楽団81人、合唱団180人、賛助出演42人)(前年度比20人減)、入場者839人(前年度比36人減)	年2回の実行委員会のほか、市、実行委員会事務局(中部大学)、出演者(合唱団、交響楽団)等による意見交換会を2回(7・3月)開催。	新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、当初12月6日(日)に開催予定であった演奏会の開催の可否や、演奏会を開催する場合の条件等について協議するなどし、連携を強化することができた。	B
人形劇フェスティバル 【かすがい市民文化財団】	人形劇フェスティバル実行委員会と共催し、市内外のアマ・プロ人形劇団が合同で公演を実施	12月1日(日)文化フォーラム春日井・視聴覚ホールほか 人形劇公演(有料)出演/愛知県立大学人形劇サークルとびねこ、中部大学子育てすくすく隊等10団体、鑑賞者257人	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	—	—

イ 商工会議所、商店街等と市、文化財団との連携の強化

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
「書のまち春日井」発信 【文化・生涯学習課】 《再掲》	商標、着ぐるみの貸し出し、グッズの制作・販売等を実施 ゆるキャラグランプリにエントリーし、市内外にPR	・商標の貸出(商品への道風くんイラスト無料使用許可):市内企業の名刺等に使用 ・着ぐるみの貸出(福祉施設や一般企業へ無料貸出) ・道風くんグッズ 公共施設のほか、春日井市観光コンベンション協会(JR春日井駅Lyric k)、市内書道用品店・書店で委託販売	・商標の貸出(商品への道風くんイラスト無料使用許可):市内企業の名刺等に使用 ・着ぐるみの貸出(福祉施設や一般企業へ無料貸出) ・道風くんグッズ 公共施設のほか、春日井市観光コンベンション協会(JR春日井駅Lyric k)、市内書道用品店・書店で委託販売	商工会議所や民間企業にもマスコットキャラクター「道風くん」を幅広く活用してもらうことができた。	B
友の会事業 【かすがい市民文化財団】	自主事業のチケット先行発売・割引購入が可能な有料会員制度。市内の様々な店舗が提携ショップとなっており、会員サービスを実施	友の会会員(有料)828人 提携ショップ38店舗 提携ショップは松竹大歌舞伎・夕涼みシネマなどの公演会場で、関連商品の販売なども実施 ミュージカル「忍たま乱太郎」に合わせ、提携ショップや商店街に協力を仰ぎ、遠方から来訪する観客向けにおもてなし企画を実施	友の会会員(有料)548人 提携ショップ38店舗 ミュージカル「忍たま乱太郎」に合わせ、提携ショップや商店街に協力を仰ぎ、遠方から来訪する観客向けにおもてなし企画を実施	市内商店等と提携し、友の会会員に各種サービスを提供することができた。また、提携ショップと協力し、来場者が市内商店の商品を楽しむことができた。 おもてなし企画が来場者に大変好評となり、TwitterなどのSNS上で、高評価を受けることができた。	B

ウ 企業・団体等による子どもの芸術鑑賞支援

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
自主文化事業 (鑑賞系事業) 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	年齢や性別、社会的状況等に関わらず誰もが芸術を鑑賞できる機会を提供	東部市民センターで開催した公演で地元企業の協賛により、小学生以上の親子50組100人を招待	東部市民センターで開催した公演で地元企業の協賛により、小学生以上の親子50組100人を招待	地元企業の協賛により、小学生とその保護者に芸術鑑賞の機会を提供することができた。	B

(2) 幅広い分野での芸術文化の活用の促進

ア 福祉施設、病院等での文化事業の開催

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
あ〜とふるマイタウン(芸術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	芸術家等を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※音楽分野に加え、令和2年度より伝統芸能分野も文化財団に移管し、「かすがいどこでもアート・ドア」事業で実施。	実施プログラム5、実施回数12回(前年度比9回減) <内訳> 書(篆刻を含む):3プログラム6回(前年度比3回増) 伝統芸能(落語・日本舞踊):2プログラム6回(増減なし)	なし (わ〜く書っぷ(書家派遣事業)に移行したため)	—	—

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
<p>かすがいどこでもアート・ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】</p>	<p>学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽分野について、令和2年度より市より移管を受けた。</p>	<p>派遣アーティスト7組19名、実施回数15回(前年度比3回増) <内訳> 音楽(①三味線2回、②サクソフォン・打楽器3回、③フルート・オーボエ・ピアノ2回、④クラリネット・サクソフォン・ピアノ2回、⑤マリンバ・パーカッション・ピアノ2回、⑥ギター2回)、ダンス2回</p>	<p>派遣アーティスト13組28名、実施回数11回(前年度比4回減) <内訳> 音楽(①三味線1回、②サクソフォン・打楽器1回、③フルート・オーボエ・ピアノ1回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑤マリンバ・パーカッション・ピアノ3回、⑥ピアノ2回、⑦ギター1回)、日本舞踊1回、落語1回、演劇1回、美術2回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12回中止。</p>	<p>文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を間近で感じられる機会を提供することができた。 前年度実施のなかった美術、演劇分野でのアウトリーチも実施することができた。</p>	<p>B 市内で活動する若手音楽家6組を派遣しており、アーティストの経験値を上げることができた点も成果と考えている。</p>

イ 文化芸術による地域の絆づくりの推進

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
あ〜とふるマイタウン(芸術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	芸術家等を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※音楽分野に加え、令和2年度より伝統芸能分野も文化財団に移管し、「かすがいどこでもアート・ドア」事業で実施。	実施プログラム5、実施回数12回(前年度比9回減) <内訳> 書(篆刻を含む):3プログラム6回(前年度比3回増) 伝統芸能(落語・日本舞踊):2プログラム6回(増減なし)	なし (わ〜く書っぷ(書家派遣事業)に移行したため)	—	—
文化財団広報誌「FORUM PRESS」 【かすがい市民文化財団】 《再掲》	自主文化事業を中心とした芸術文化情報及び施設に関する情報を掲載した情報誌を発行	A4サイズ16ページフルカラー 隔月(年6回)10,000部 ・自主文化事業に関する情報 ・FORUM PRESSレポーター(ボランティア)による公演感想記「わたしのレポート」 ・春日井に関わる人にインタビューした「あの人と、春日井と」 ・「校歌は地域をうたう」「PiP提携ショップガイド」などの地域にまつわるコンテンツ	4回発行 98号はA4サイズ12ページ3,000部、99号は同6000部、100号はA4サイズ24ページ、8,000部、101号よりB5サイズにリニューアルし、20ページ7,000部発行。 ・FORUM PRESSレポーター(ボランティア)による公演感想記「わたしのレポート」や「あの人と、春日井と」など地域にまつわるコンテンツをリニューアル後も継続して掲載。	新型コロナウイルス感染症の影響下で、施設や催事での紙媒体の配布が難しかったが、これから開催される自主事業に関する情報だけではなく、記事を読んで興味がわくような情報発信を行うことができた。 読者アンケートでも大変好評であり、施設や文化財団の事業についてだけでなく、春日井市の魅力をPRすることができた。	B 新型コロナウイルス感染症の影響で、紙媒体の配布が難しくなっている。 そういった中で、リニューアルすることで、新たな方向性を探っていくことができていると考えている。

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値		目標値		実績値	
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度
大学や企業、各種団体等と市、文化財団との連携による事業の参加者数	1,546人	1,600人	1,700人	2420人	2,588人	277人

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、地元大学や福祉施設、教育機関との連携は大変困難であったと思われる。</p> <p>感染症が治まった後、他分野と協力・協働し、文化芸術が生み出す効果を活かしていく取り組みがより一層望まれるので、具体的な方策を検討していく必要がある。</p>
B 概ね計画どおりの成果が得られた	
C 成果が得られた事業が多かった	
D 成果が得られた事業は少なかった	
E 成果は得られなかった	

施策⑨ 文化による地域の活性化

施策ごとの事業の成果

(1) 市民の文化交流の推進

ア 地域で行う祭り等の文化活動の支援

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
区・町内会等活動支援事業 【市民活動推進課】	区・町内会等の自主的・主体的に行う活動の推進を図るために助成金を交付	・助成金交付:252団体 81,289世帯(前年度比1団体増、1,332世帯減) 町内会加入率 59.6%(前年度比1.7%減) ・自主的・主体的な活動(盆踊り大会、秋祭りほか)	・助成金交付:251団体 80,511世帯(前年度比1団体減、778世帯減) 町内会加入率 58.5%(前年度比1.1%減) ・自主的・主体的な活動(盆踊り大会、秋祭りほか)	継続して区・町内会等の事業活動に対し、支援を行うことができたが、新型コロナウイルス感染症の影響下で、計画通りの活動ができない団体が多かった。	B

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
郷土芸能保存 【文化財課】 《再掲》	郷土芸能の保存団体の活動を支援する補助金の交付、他機関の助成情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能保存団体会員数 1,209人(前年度比43人増) ・補助交付 30団体 保存伝承事業29件、用具修理・購入補助12件 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能保存団体会員数 1,197人(前年度比12人減) ・補助交付 19団体 保存伝承事業12件、用具修理・購入補助12件 	郷土芸能保存伝承のための活動や用具の修理・購入に補助を行い、他機関の助成情報の提供等保存団体の活動を支援することができたが、新型コロナウイルス感染症の影響下で、計画通りの活動ができない団体も多かった。	B

イ 地域に身近な会場での鑑賞・交流機会の提供

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
あ〜とふるマイタウン(芸術家等派遣事業) 【文化・生涯学習課】 《再掲》	芸術家等を公民館や学校等の身近な施設に派遣 ※音楽分野に加え、令和2年度より伝統芸能分野も文化財団に移管し、「かすがいどこでもアート・ドア」事業で実施。	実施プログラム5、実施回数12回(前年度比9回減) <内訳> 書(篆刻を含む):3プログラム6回(前年度比3回増) 伝統芸能(落語・日本舞踊):2プログラム6回(増減なし)	なし (わ〜く書っぷ(書家派遣事業)に移行したため)	—	—
かすがいどこでもアート・ドア(アウトリーチ事業) 【かすがい市民文化財団】	学校や保育園、福祉施設などにアーティストを派遣し、特別授業やコンサートを実施 ※「あ〜とふるマイタウン事業」のうち、音楽分野について、令和2年度より市より移管を受けた。	派遣アーティスト7組19名、実施回数15回(前年度比3回増) <内訳> 音楽(①三味線2回、②サクソフォン・打楽器3回、③フルート・オーボエ・ピアノ2回、④クラリネット・サクソフォン・ピアノ2回、⑤マリンバ・パーカッション・ピアノ2回、⑥ギター2回)、ダンス2回	派遣アーティスト13組28名、実施回数11回(前年度比4回減) <内訳> 音楽(①三味線1回、②サクソフォン・打楽器1回、③フルート・オーボエ・ピアノ1回、④ソプラノ・ヴァイオリン・ピアノ1回、⑤マリンバ・パーカッション・ピアノ3回、⑥ピアノ2回、⑦ギター1回)、日本舞踊1回、落語1回、演劇1回、美術2回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12回中止。	文化財団のミッションに基づく普及啓発事業の柱として実施し、幼児や高齢者など交通手段が限られる人々に芸術を身近で感じられる機会を提供することができた。 前年度実施のなかった美術、演劇分野でのアウトリーチも実施することができた。	B 市内で活動する若手音楽家6組を派遣しており、アーティストの経験値を上げることができた点も成果と考えている。

ウ 生涯学習活動団体、外国人住民を含む市民団体等の交流の推進

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
生涯学習情報発信 【文化・生涯学習課】	公民館・ふれあいセンター等で定期的に活動する団体を認定し、生涯学習活動を支援	・生涯学習活動団体登録数 714団体、13,673人(前年度比4団体減、121人減) (施設使用料の減免) ・生涯学習情報サイト 生涯学習活動団体等の情報を集約し、インターネット上で発信	・生涯学習活動団体登録数 683団体、13,264人(前年度比31団体減、409人減) (施設使用料の減免) ・生涯学習情報サイト 生涯学習活動団体等の情報を集約し、インターネット上で発信	市内各所の公共施設で活動する団体を登録団体とし、様々な団体の活動を支援することができた。	B 登録数が減少しており、対応策の検討が必要と考えている。
公民館まつり・ふれあいセンター芸能発表会 【各公民館・各ふれあいセンター】 《再掲》	公民館・ふれあいセンターで活動する同好会の成果発表会を開催	中央公民館 26団体出演・出展、延べ参加者1,672人 東部公民館 23団体出演・出展、延べ参加者2,220人 南部ふれあいセンター 延べ参加者367人 西部ふれあいセンター 延べ参加者1,358人 ※知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した。	知多公民館 9団体出展、延べ参加者115人 鷹来公民館 10団体出展、延べ参加者68人 坂下公民館 19団体出展、延べ参加者312人 ※中央公民館、東部公民館、南部・西部ふれあいセンターでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した。	地域で活動する様々な団体に成果発表の機会を提供するとともに、各団体の交流を図ることができた。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、複数の施設で事業を実施することができなかった。	B ※開催分についての み評価

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
市民との協働促進 【市民活動支援センター】	ささえ愛センター市民 交流会議を開催 ささえ愛センターまつ りを開催	・登録団体会議 13回 登録団 体200団体(前年度比6回減、 3団体増) ・ささえ愛センターまつり 4月 14日(日) 主催 ささえ愛セン ター市民交流会議、春日井市 参加団体 64団体(外国人が 加入している団体を含む) 来 場者 2,700人(市内在住外 国人を含む)(前年度比1団体 増)	・登録団体会議 10回 登録団 体199団体(前年度比3回減、 1団体減) ※新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため、ささえ愛セ ンターまつりは中止。	新型コロナウイルス感染 症の影響により、登録団体 会議が計画より減少した。 また、ささえ愛センターま つりは中止した。	—

エ 市民団体への小中学校施設の開放

事業名	概要	令和元年度の実績	令和2年度の実績	事業実施の成果	達成度 (自己評価)
学校施設開放 【文化・生涯学習課】	地域住民の生涯学習 活動やコミュニティ活 動の推進を図るため 余裕教室を地域の団 体に開放	・学校施設開放 小学校3校、5団体が利用 ・松原学習センター 8団体、2,161人が利用(前年 度比290人減)	・学校施設開放 小学校3校、5団体が利用 ・松原学習センター 8団体、743人が利用(前年度 比3,142人減)	余裕教室を活用し、地域 住民に開放し、生涯学習 活動やコミュニティ活動 を推進する機会を提供す ることができた。	B
学校体育施設開放 【スポーツ課】	平日や土日の夜間に、 小中学校の体育館等 を一般に開放	※スポーツ目的での利用を含む 小中学校:体育館52校、利用 者273,512人 中学校:武道場15校、利用者 22,252人	※スポーツ目的での利用を含む 小中学校:体育館52校、利用 者56,662人 中学校:武道場15校、利用者 5,080人	学校の利用のない時間 帯において体育館等を開 放し、地域住民の活動を 推進することができた。	B

評価指標に基づく実績

成果指標	現状値	目標値		実績値		
	2016年度	2021年度	2026年度	2018年度	2019年度	2020年度
生涯学習活動団体の会員数	14,868人	15,000人	15,000人	13,794人	13,673人	13,264人

施策ごとの評価

事業の評価	特記事項
A 計画以上の成果が得られた	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、いずれの活動も大変困難であったと思われる。</p> <p>高齢化による後継者不足が懸念される郷土芸能等の保存については、社会的な課題が大きいですが、感染症が治まった後、どういった対策が可能か予め検討しておくことが望まれる。</p> <p>生涯学習活動団体についても、高齢化や活動自粛により会員数が減少している中、今後どういった取り組みが有効なのか、引き続き検討していくことが望まれる。</p>
B 概ね計画どおりの成果が得られた	
C 成果が得られた事業が多かった	
D 成果が得られた事業は少なかった	
E 成果は得られなかった	

(2) プラン全体(計画期間3年目)の評価

令和2年度は、前年度末から広まった新型コロナウイルス感染症の影響で、国民全体で「不要不急」の行動が制限され、文化分野は大きな制約を受けることとなった。芸術家からは、文化は「不要不急」ではなく、文化は「生活の中のビタミン剤である」という声もあがったが、緊急事態宣言発令中は、公共施設の利用が制限されるなど、実際の文化活動には大きな困難が生じた。

そのため、市や文化財団などで実施予定であった事業でも、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかったものも少なくなく、また、それぞれの事業は計画に近い成果を上げることができていても、施策全体としては、「計画どおり」又は「計画以上の」成果があったとの評価は難しい分野が多かった。自己評価については、感染症の影響下で様々な制約があったにもかかわらず、何とか工夫を重ねて事業実施につなげられた事業では、その旨が記載されており、それぞれの働きかけの成果と考えている。

感染症の問題がいつまで継続するかは判然としないが、コロナ渦での「新しい生活様式」、コロナ後の「新しい生活様式」の中で、心豊かな日常を送るためには、文化は必要不可欠なものである。令和2年度は事業を実施できなかったものについても、今後はどういった対応がとれるのか、引き続きの検討が望まれる。

また、施策③「知りたい人に届く文化情報の発信」や施策⑤「文化が育つ拠点施設の充実」については、新型コロナウイルス感染症の影響下であっても、実施可能な部分もあるため、感染症の影響下だからこそ強化を求めたい部分である。

その他、施策④「市民による文化活動支援の推進」、施策⑥「特色ある文化の推進」、施策⑦「文化財・伝統文化の保存・継承・活用」、施策⑧「分野を超えた連携の推進」、施策⑨「文化による地域の活性化」は、コロナ後の大きな課題となることが想定される。1～2年で効果が上がるような対策よりも、長期的な視野で検討を重ねていくことが望まれる。

ただし、新型コロナウイルスという不可抗力が原因であっても、事業の中止が相次ぎ、鑑賞及び発表の機会や活動の機会を一部提供できなくなったことは事実であり、それらが含まれる項目について、成果があったと評価することは難しいとの意見もあったため、特記しておく。